

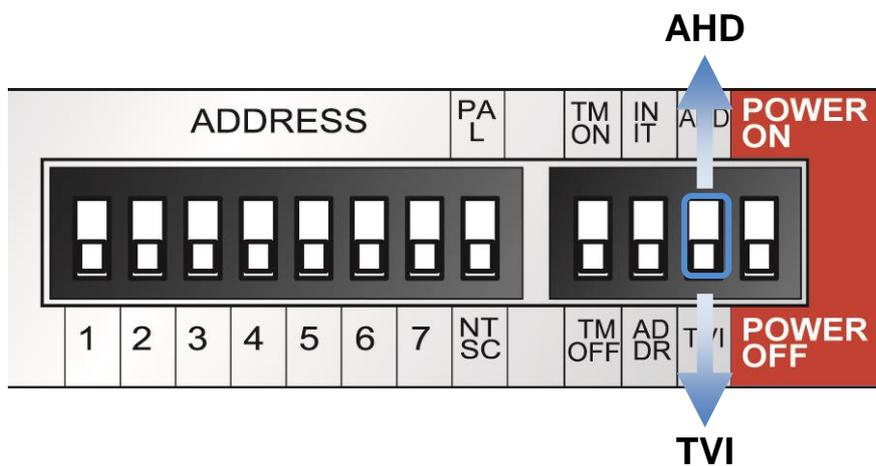
AHD 又は TVI ビデオ出力の選択

屋内

カメラ本体のディップスイッチを使用して、AHD または TVI ビデオ出力を設定します。



右側のディップスイッチの AHD または TVI ビデオ出力を 3 番目の位置に設定することができます。



Content

1.	注意.....	3
2.	製品紹介.....	5
2.1.	仕様について.....	5
2.2.	製品パッケージ.....	6
2.3.	機能の名称.....	7
2.4.	取り付け方法.....	9
2.4.1.	壁ブラケットの設置方法（屋外）.....	9
2.4.2.	屋内の基本的な設置方法.....	10
2.4.3.	壁ブラケットの設置方法（屋内）.....	11
2.4.4.	天井マウントブラケット設置方法（屋外）.....	12
2.4.5.	スピードドームジャンクションボックスの使用.....	13
2.4.6.	コーナーマウント設置方法.....	15
2.4.7.	ポールマウント設置方法.....	15
3.	ディップスイッチ設定.....	16
3.1.	DIP スイッチ設定.....	16
3.2.	プロトコル設定.....	17
3.3.	Address DIP スイッチ設定.....	18
3.4.	OSD メニュー設定.....	19
3.4.1.	OSD メニュー抑制.....	19
3.4.2.	メニュー機能.....	20
3.4.3.	設定メニュー.....	43
3.4.4.	OSD メッセージ.....	46
4.	トラブルシューティング.....	48
5.	寸法.....	49
5.1.	屋外タイプ.....	49
5.2.	屋内タイプ.....	50
6.	設定ダイアグラム.....	51
7.	スペック.....	52

1. 注意

弊社製品を購入していただきありがとうございます。取扱説明書を十分に理解した上で製品を操作してください。ご質問等ございましたら、お気軽にお問い合わせください。

環境上の注意

製品を使用する前に、次の事項に注意してください。 以下の場所を避けてください。	
	<ul style="list-style-type: none">• 高温/低温 → 屋内カメラを-10℃以下又は+ 50℃以上の場所で使用すると、トラブルが発生する可能性があります。
	<ul style="list-style-type: none">• 雪、雨、又は湿気の多い場所 → 湿気や水、液体が問題を引き起こす可能性があります。
	<ul style="list-style-type: none">• オイル、ガス → 油やガスはカメラを損傷する可能性があります。
	<ul style="list-style-type: none">• 振動・衝撃 → カメラに問題やエラーを引き起こします。
	<ul style="list-style-type: none">• 直射日光 → 天気が変わる場所の外に屋内カメラを設置すると、問題が発生する可能性があります。
	<ul style="list-style-type: none">• 高周波・電力線閉鎖 → カメラを電磁ユニットまたは電源供給装置の周りに設置すると、問題が発生する可能性があります。

使用上の注意

ユニットを分解したり異物を入れたりしないでください。	
	<ul style="list-style-type: none">• ユニットの分解したり、金属などの異物を入れたりすると、カメラが故障する可能性があります。
	<ul style="list-style-type: none">• 取り付け前に電源スイッチをオフにしてください。 → 電源スイッチをオフにし、設置前にカメラの電圧を確認してください。
	<ul style="list-style-type: none">• ユニットの衝撃を与えないでください。 → ボタンに強い衝撃や過大な力を加えると、端子に問題が生じることがあります。



この製品は、下記の指令の条項に従い、欧州規格に従って設計・製造されています。
電磁適合性指令 89/336 / EEC (EN61000-3-2 : 1995、EN61000-3-3 : 1995、EN50081-1 : 1992、
EN50082-1 : 1997)

(1) このデバイスは有害な干渉を引き起こさないこと。(2) このデバイスは、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含めて受信したすべての干渉を受け入れなければなりません。このデバイスは、fcc ルール操作のパート 15 に準拠しています。

注意 :

- ①AC24～26V 電源を使用する必要がある、電流強度は 5A 未満でなければならず、二重巻線トランスを使用する必要があります。
- ②アダプターからカメラへの電源ラインは絶対に延長しないでください。
- ③電源ラインを延長したい場合は、18AWG (1.0mm) より太いケーブルを使用してください。
- ④1台のカメラにつき1つのアダプターを使用する必要があります。
- ⑤多くのカメラを供給したい場合は、余分に電源を準備してください。

2. 製品紹介

2.1. 仕様について

このカメラは、2メガピクセルのフル HD TVI / AHD ハイブリッドミニスピードドームカメラで、様々な機能を含む高速ドームカメラとして設計されています。

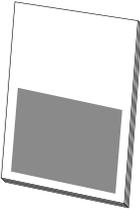


- 特徴 -

- 2.2メガピクセル FullHD-SDI1080p に対応
- 光学 10倍ズーム、デジタル x32 ズーム
- 電子感度最小照明 0.001Lux (DSS コントロール)
- ICR DAY&Night で夜間に B/W (0.1Lux) に変更
- デジタルノイズリダクション (DNR)
- DEFOG 機能
- 動体感知・プライバシーマスク機能
- 様々な監視機能
プリセット(250), グループ(12), ツアー, トレース, スパイラル
- ファン&ヒーターを使用してカメラ内部の湿気を取り除く (屋内ファンのみの場合)
- アラーム受信ユニットまたはセンサーとしての自動移動検出エリア
- RS422/485 リモコン
- 内蔵のオートチルト (180°のチルト回転を自動)

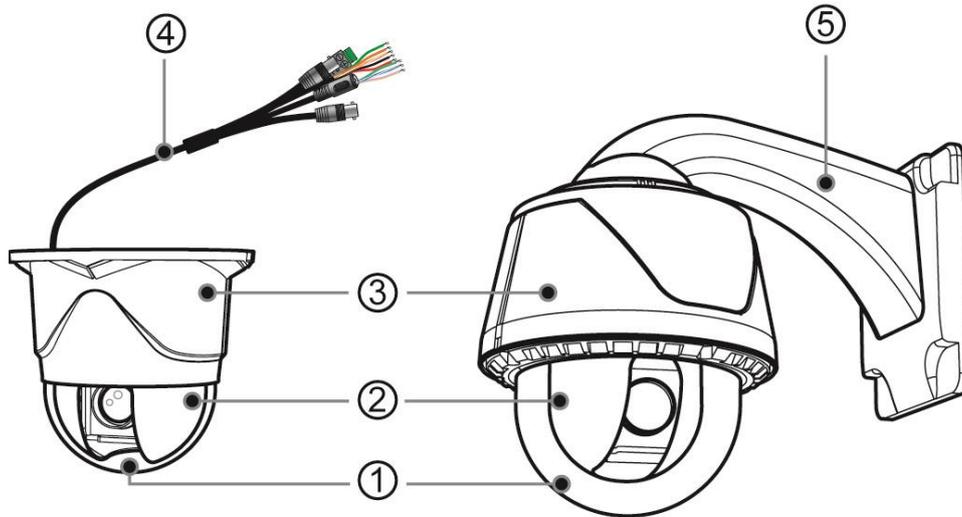
2.2. 製品パッケージ

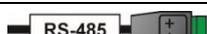
以下の項目が含まれています。

製品	数量	屋外タイプ	屋内タイプ
本体	1 pcs		
マウントブラケット	1 pcs		該当なし
電源 (AC24V/2.5A)	1 pcs		
ブラケットラバー	2 pcs		該当なし
ポイントガイド	1 pcs	該当なし	
ネジ	2/4 pcs (スペア)		
ネジ アンカー	4 pcs	該当なし	
取扱説明書	1 copy		

2.3. 機能の名称

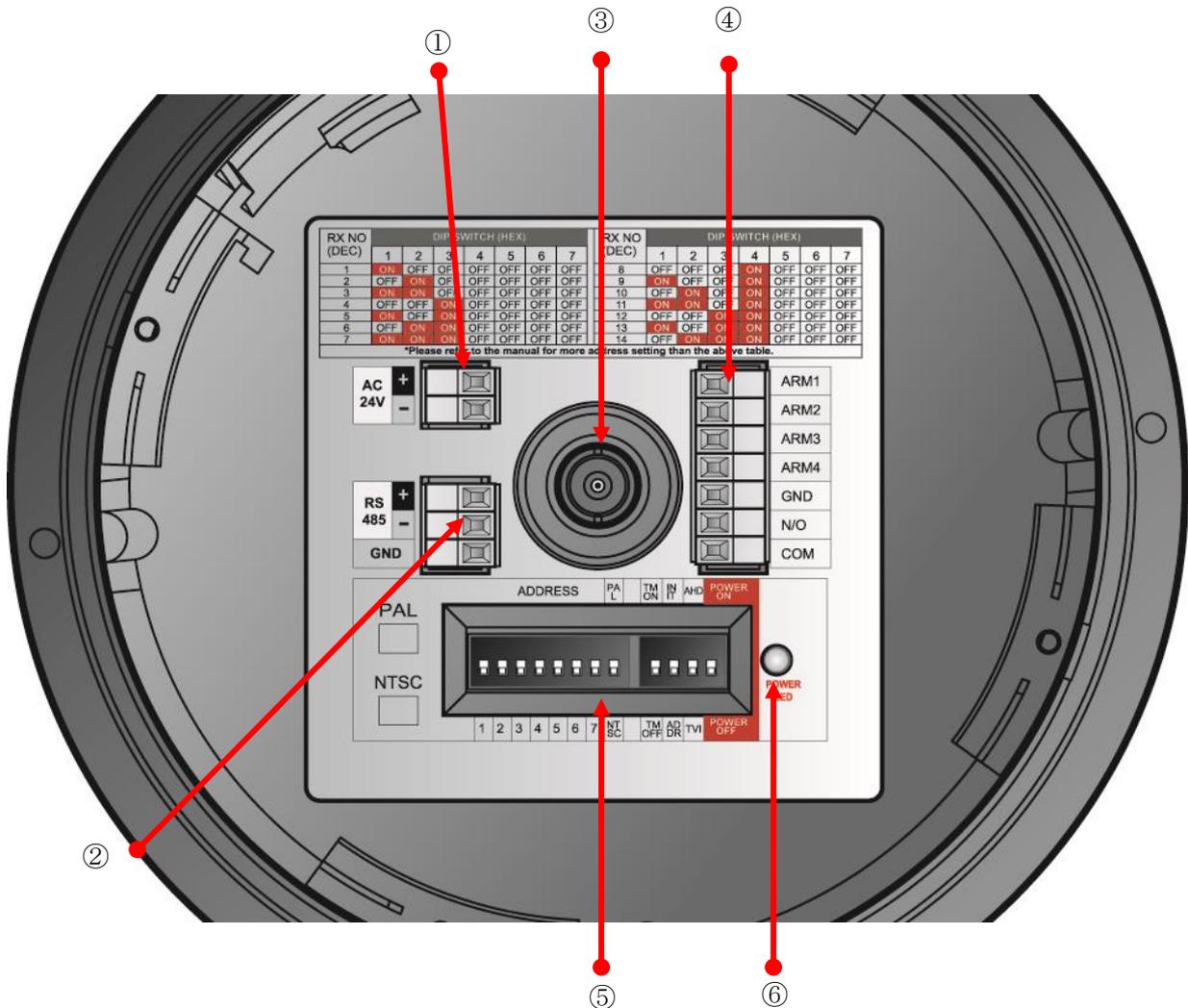
- 外面 -



No	名称	機能	
①	ドームクリアバブル	レンズと PTZ ドームドライブの保護	
②	PTZ カメラ	PTZ dome drive (Pan/Tilt/Zoom)	
③	カメラハウジング	屋内/屋外 PTZ ハウジング	
④	ケーブル		POWER (AC24V)
			TVI AHD
			CVBS 出力
			RS-485
			アラーム 入力
	アラーム 出力	白/青: N/O ピンク: N/C 黄緑: COM	
⑤	壁マウントブラケット	壁に取り付けるためのブラケット	

- 内部 -

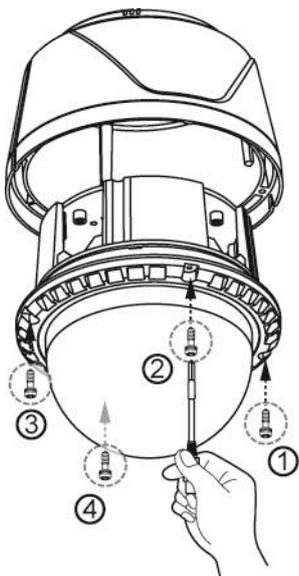
接続カバー



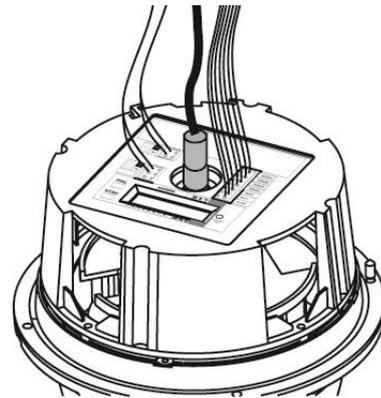
No.	名称	機能
①	電源ポート	AC 24V / 2A 電源入力
②	RS-485 ポート	RS-485 PTZ コントロール接続ポート
③	ビデオ出力ポート	AHD 又は TVI ビデオ出力ポート(1080P 25/30 FPS)
④	アラーム入出力ポート	アラーム入出力ポート
⑤	DIP スイッチ (1~7, 8)	No.1~7 : アドレス設定スイッチ/ No.8 : NTSC または PAL 選択可能
	DIP スイッチ (1~4)	設定スイッチ
⑥	パワーLED	電源を入れると点灯します

2.4. 取り付け方法

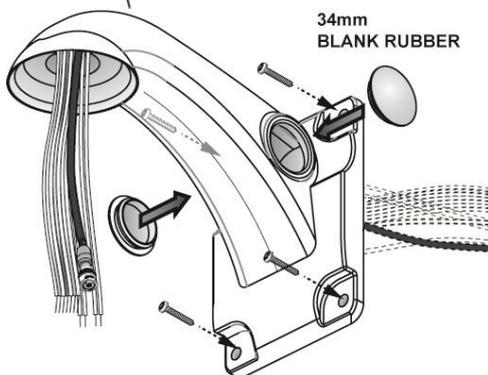
2.4.1. 壁掛け金具の取り付け - (屋外)



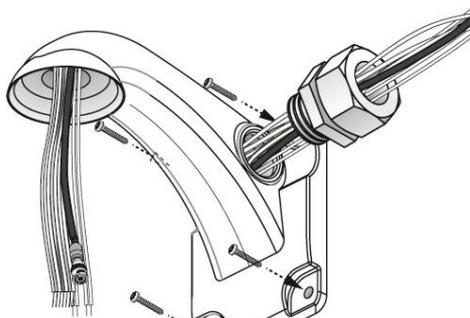
① バブルカバーの 4 つのボルトを緩め、カメラハウジングを外します。



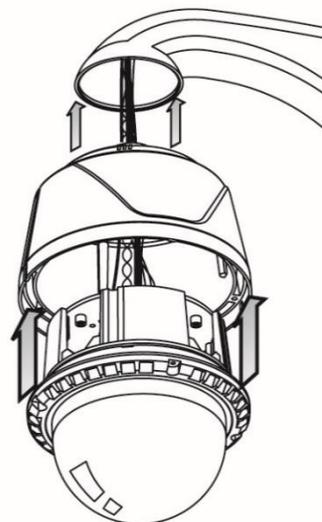
③ 電源ケーブル、データケーブル、ビデオケーブルをカバーの接続部に接続しディップスイッチを設定します。



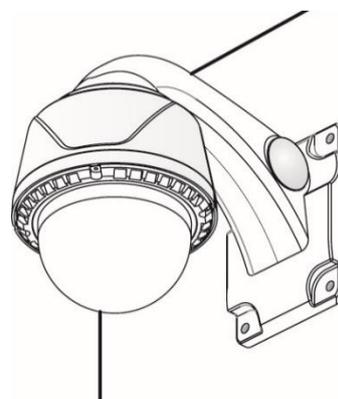
②-1. ブラケットにケーブル（電源、ビデオ、データ）を入れ、4本のボルトで壁にブラケットを固定し、両方の穴を閉めます。



②-2. カメラがコンクリート製の建物に設置されている場合は、ケーブルをブラケットに入れ TAB / P1 / 11 "フレキシブルコネクタ (28mm) で閉めます。

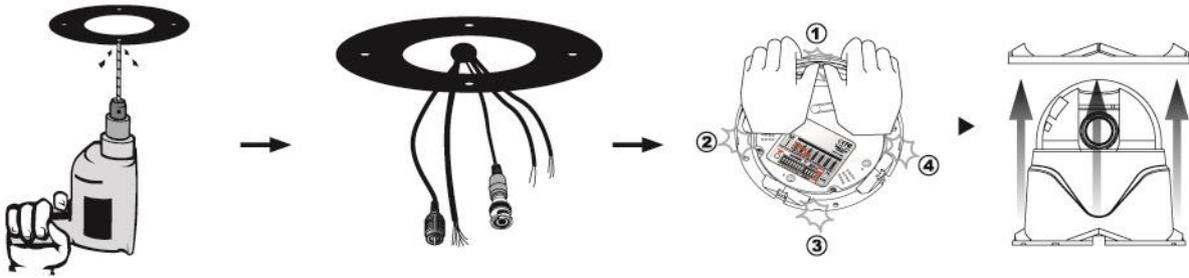


④ 接続が完了したら、カメラボディとハウジングをボルトで固定し、ブラケットに接続してください。

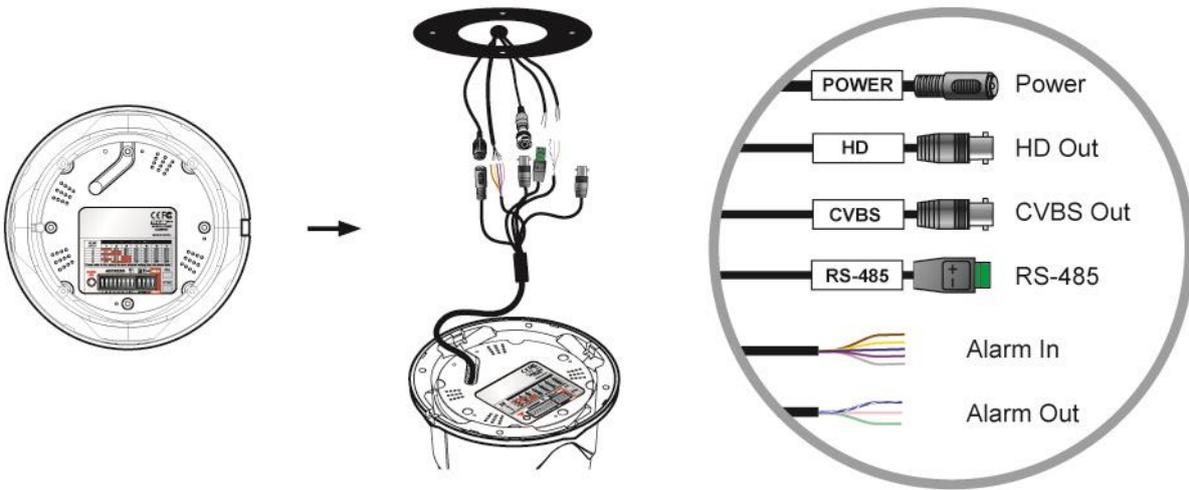


⑤ 壁掛け金具の取り付けが完了しました。

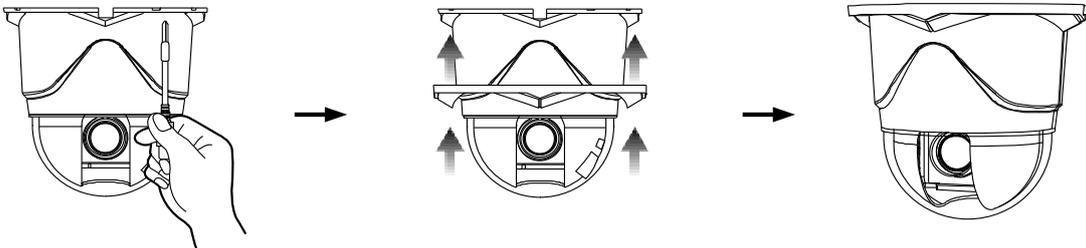
2.4.2.屋内用の基本インストール



- ① カメラが設置される天井ガイドを取り付けた後、4つの穴を作ってください。
- ② 天井からケーブルを取り出します。
- ③ カメラ本体カバーの4バンドを分解してください。



- ④ ディップスイッチを設定します。
- ⑤ ケーブルで接続してください。



⑥ 4本のネジを締めます。

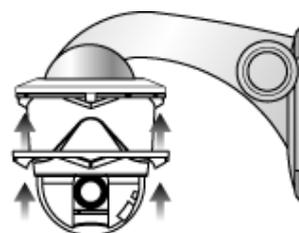
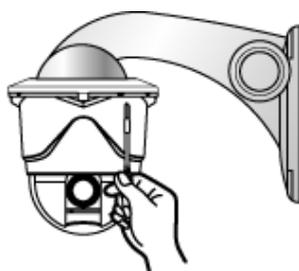
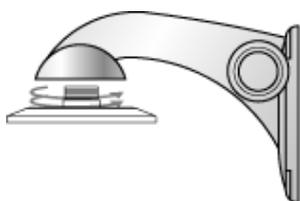
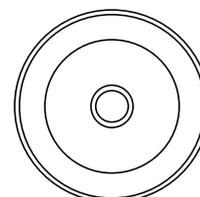
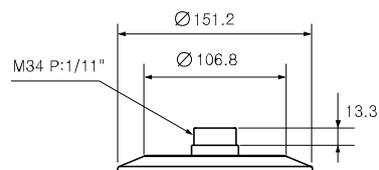
⑦ カメラ本体のカバーを取り付けます。

⑧ 完成

2.4.3.屋内用壁掛けブラケットの設置

マウントを使用しブラケットと接続することができます。

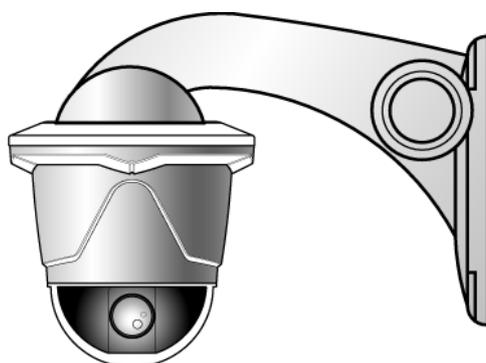
(マウント・ブラケットは屋内用のオプション品です)



① ウォールブラケットとマウントを接続します。

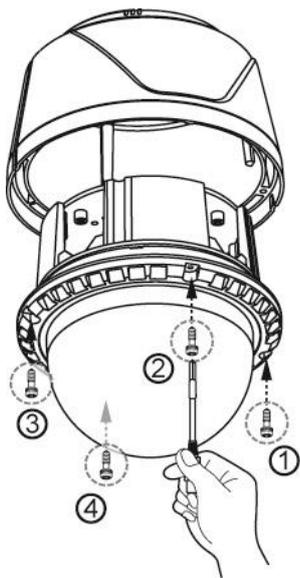
② 4本のネジを固定します。

③ カメラのボディカバーを接続します。

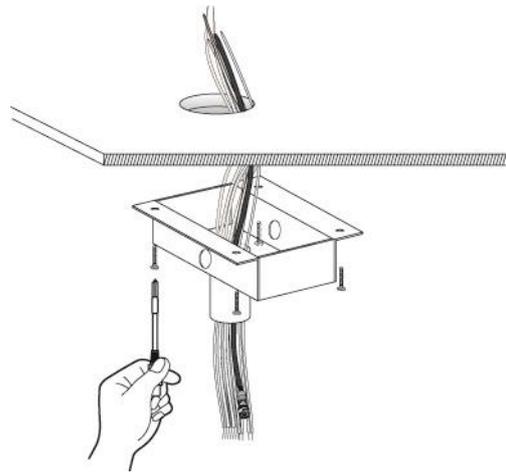


完成

2.4.4.天井マウントブラケットの取り付け - 屋外

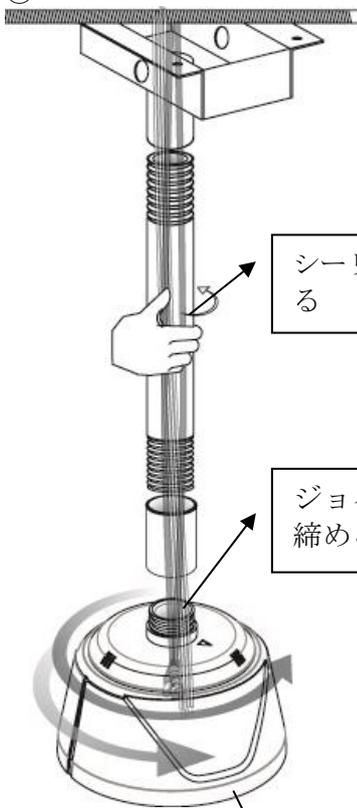


① バブルカバーの 4 つのボルトを緩め、カメラハウジングを外します。



② 天井にポールボックスを取り付けます。

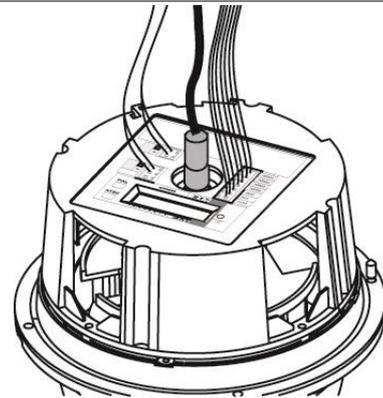
③



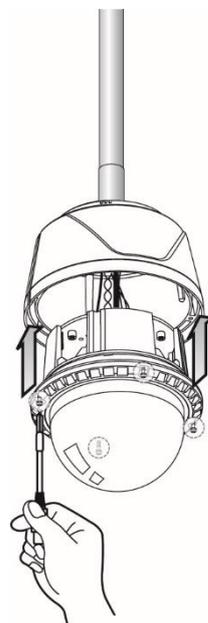
シーリングポールを締める

ジョイントカップルを締める

カバーを締める

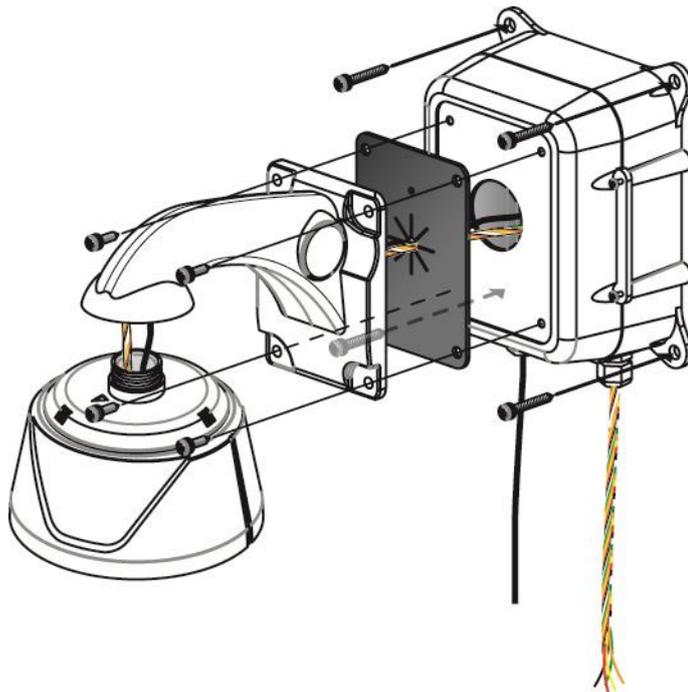


④ 電源ケーブル、データケーブル、ビデオケーブルを接続部に接続し、ディップスイッチを設定します。



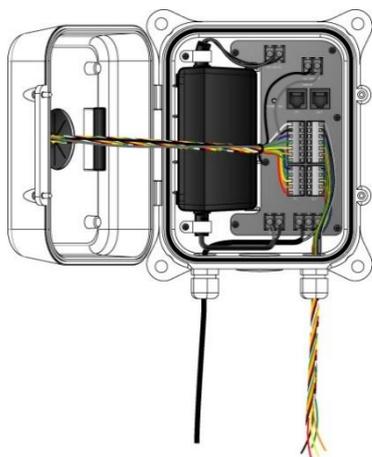
⑤ 接続とディップスイッチの取り付けが完了したら、カメラ本体とハウジングを結合してください。

2.4.5.スピードドームジャンクションボックスを使用する

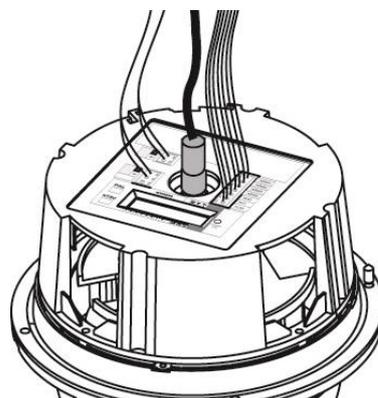


-スピードドームジャンクションボックスの取り付け-

ジャンクションボックスのネジ 4 本をカメラハウジングの順に締め付けます→ウォールマウント
ブラケット→防水カバー→スピードドームジャンクションボックス→壁

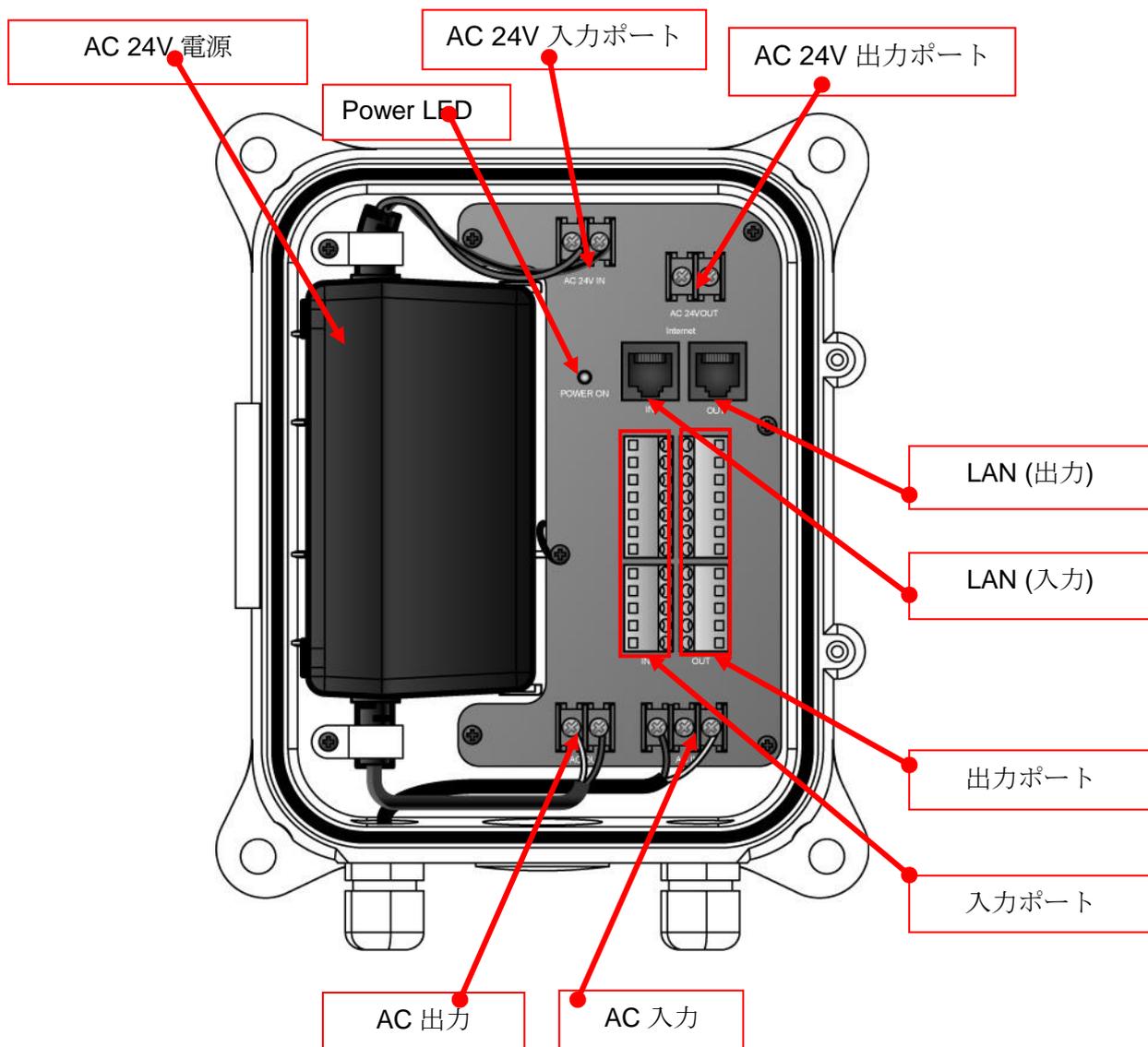


ジャンクションボックス接続



カメラ接続

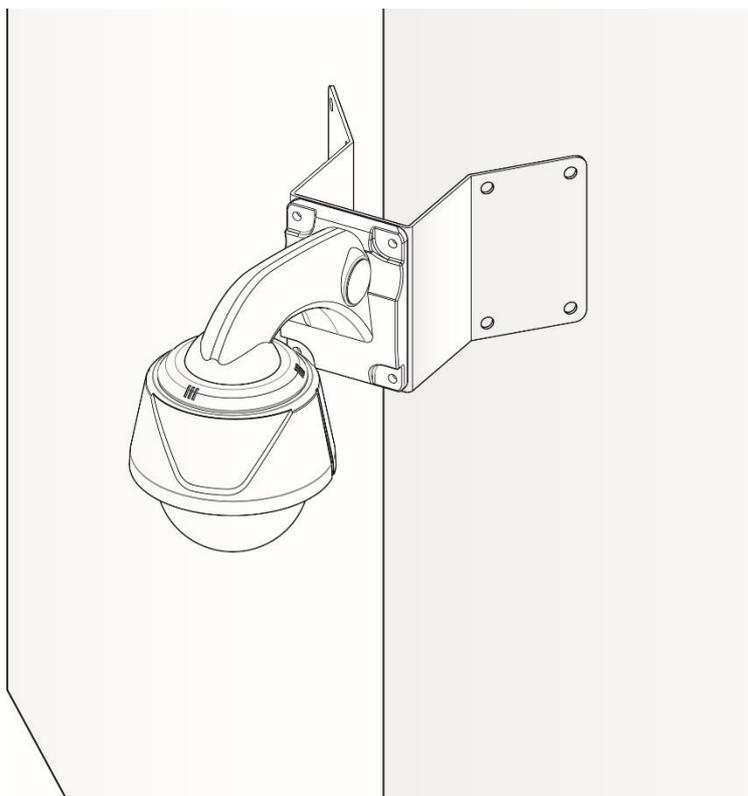
ジャンクションボックス内のケーブル接続については、壁掛けブラケットの取り付け部を参照してください。PTZ ジャンクションボックス内部の部品は以下のとおりです。



※スピードドームジャンクションボックスのユーザーマニュアルを参照してください。

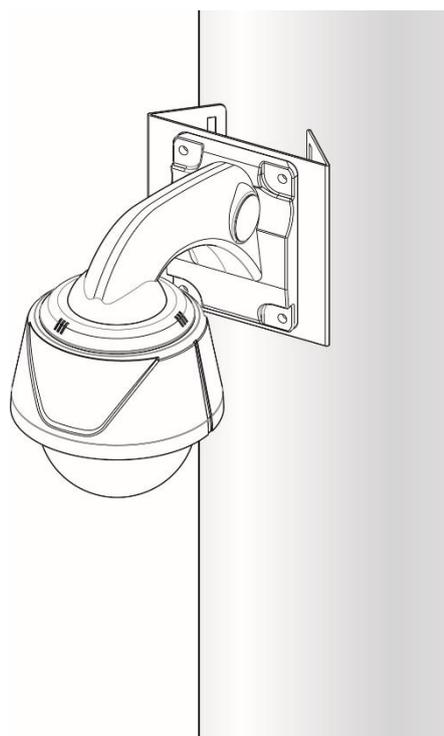
2.4.6. コーナーマウントの取り付け

壁の角に壁掛けブラケットを取り付けるときは、コーナーマウントで取り付けます。



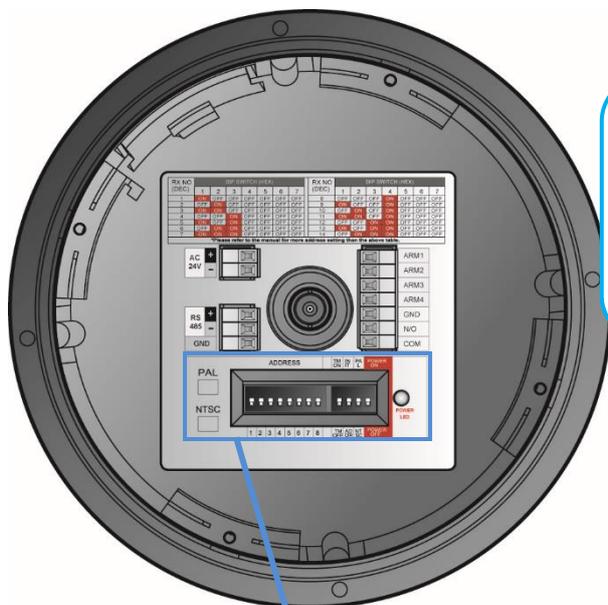
2.4.7. ポールマウントの取り付け

壁掛け金具をシリンダに取り付けるときは、ポールマウントと組み合わせて取り付けます。



3. ディップスイッチ設定

3.1. ディップスイッチ設定

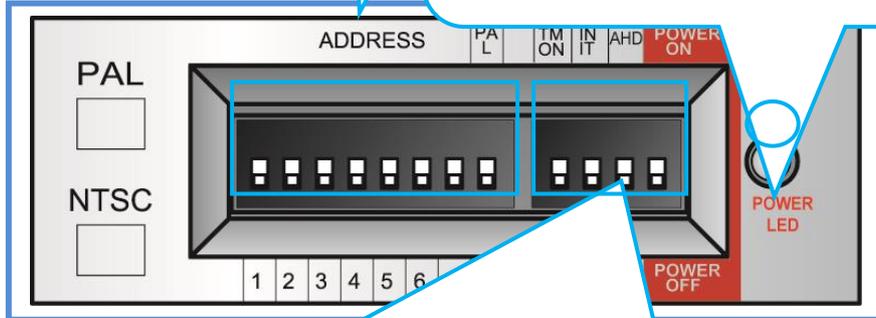


<S1>

- カメラのアドレスを 1~7 番の DIP スイッチに設定します。
- INIT の DIP スイッチは、カメラプロトコルとボーレート用です。
- 第 8 は NTSC/ PAL 信号に設定された DIP SWITCH。

<POWER LED>

これは、電源オン/オフの状態を示しています。緑色のLEDは電源が正常に動作していて、赤いLEDは消灯しています。



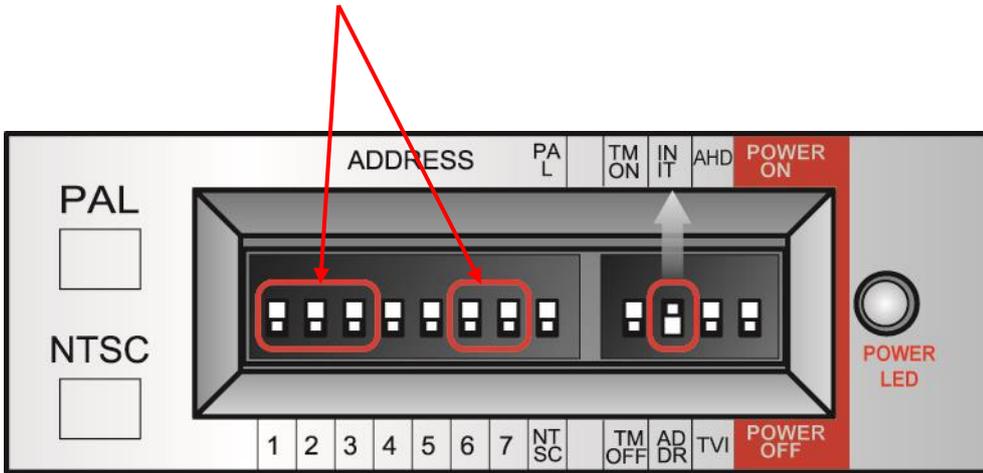
<S2>

- 終端抵抗 (DIP S2/ SW1)
→は、上の終端抵抗をオン/オフするスイッチとしてのデータライン上で最後にカメラを回します。
いくつかの方向に分散されたデータラインの場合に最も速いカメラのいくつかの DIP SW をオンにします。
(*デフォルトではオフになっています。)
- アドレス/初期選択 (DIP S2/ SW2)
→アドレスの状態に設定されたアドレスのディップ SW
(次のページへ*参考*)

- (。***最初のデフォルト値はアドレスです。**) 通信速度 (ボーレート) として初期の状態です。アッププロトコルを設定します。
- TVI または AHD 出力の選択 (DIP S2 / SW3)
→TVI : TVI 出力、AHD : AHD 出力
 - 電源オン/オフ (DIP S2/ SW4)
→DIP スイッチは電源をオフの状態時に設定します。ディップスイッチを設定した後、電源をオンにしてください。

3.2. プロトコル設定

スイッチを設定します。(8番目のディップスイッチはNTSC/PAL信号を変換できます)



選択プロトコル用スイッチ

選択ボーレートのスイッチ

PROTOCOL	S1					S2
	SW1	SW2	SW3	SW6	SW7	SW 'INIT \leftrightarrow ADDR'
D-MAX (9600 bps)	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	INIT
P-P (9600 bps)	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	INIT
P-P (4800 bps)	ON	OFF	OFF	OFF	ON	INIT
P-P (2400 bps)	ON	OFF	OFF	ON	OFF	INIT
P-D (9600 bps)	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	INIT
P-D (4800 bps)	OFF	ON	OFF	OFF	ON	INIT
P-D (2400 bps)	OFF	ON	OFF	ON	OFF	INIT
S-T (9600 bps)	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	INIT

ユーザーがプロトコルを変更したい場合は、S2をINITに変更します

- ①電源を切ってください
- ②上の表で切り替えたいプロトコルを切り替えます
- ③電源を入れると、設定したプロトコルとボーレートが表示されます。
- ④すべての設定が正しい場合は電源を切ります。その後、プロトコルの変更が終了します。
- ⑤電源投入前にS2の2番をADDRに変更、カメラのアドレスを設定してから電源を入れてください。
- ⑥何かが間違っている場合は、上記の表を参照してもう一度試してください。

3.3. アドレスディップスイッチの設定

ADDRESS は DIP スイッチ 1~7 によって No 1~128 に設定されます。

RX NO	DIP スイッチ (HEX)							RX NO	DIP スイッチ (HEX)						
	1	2	3	4	5	6	7		1	2	3	4	5	6	7
1	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	33	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	OFF
2	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	34	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	ON	OFF
3	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	35	ON	ON	OFF	OFF	OFF	ON	OFF
4	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	36	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	ON	OFF
5	ON	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	37	ON	OFF	ON	OFF	OFF	ON	OFF
6	OFF	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	38	OFF	ON	ON	OFF	OFF	ON	OFF
7	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	39	ON	ON	ON	OFF	OFF	ON	OFF
8	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	40	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	ON	OFF
9	ON	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	41	ON	OFF	OFF	ON	OFF	ON	OFF
10	OFF	ON	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	42	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
11	ON	ON	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	43	ON	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
12	OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF	OFF	44	OFF	OFF	ON	ON	OFF	ON	OFF
13	ON	OFF	ON	ON	OFF	OFF	OFF	45	ON	OFF	ON	ON	OFF	ON	OFF
14	OFF	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	46	OFF	ON	ON	ON	OFF	ON	OFF
15	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	47	ON	ON	ON	ON	OFF	ON	OFF
16	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	48	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON	OFF
17	ON	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	49	ON	OFF	OFF	OFF	ON	ON	OFF
18	OFF	ON	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	50	OFF	ON	OFF	OFF	ON	ON	OFF
19	ON	ON	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	51	ON	ON	OFF	OFF	ON	ON	OFF
20	OFF	OFF	ON	OFF	ON	OFF	OFF	52	OFF	OFF	ON	OFF	ON	ON	OFF
21	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	OFF	53	ON	OFF	ON	OFF	ON	ON	OFF
22	OFF	ON	ON	OFF	ON	OFF	OFF	54	OFF	ON	ON	OFF	ON	ON	OFF
23	ON	ON	ON	OFF	ON	OFF	OFF	55	ON	ON	ON	OFF	ON	ON	OFF
24	OFF	OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF	56	OFF	OFF	OFF	ON	ON	ON	OFF
25	ON	OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF	57	ON	OFF	OFF	ON	ON	ON	OFF
26	OFF	ON	OFF	ON	ON	OFF	OFF	58	OFF	ON	OFF	ON	ON	ON	OFF
27	ON	ON	OFF	ON	ON	OFF	OFF	59	ON	ON	OFF	ON	ON	ON	OFF
28	OFF	OFF	ON	ON	ON	OFF	OFF	60	OFF	OFF	ON	ON	ON	ON	OFF
29	ON	OFF	ON	ON	ON	OFF	OFF	61	ON	OFF	ON	ON	ON	ON	OFF
30	OFF	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	62	OFF	ON	ON	ON	ON	ON	OFF
31	ON	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	63	ON	ON	ON	ON	ON	ON	OFF
32	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	64	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	ON

- アドレス表 -

- 7 DIP スイッチをオンにすると、上記のように 65~128 に設定することができます。

3.4. OSD メニュー設定

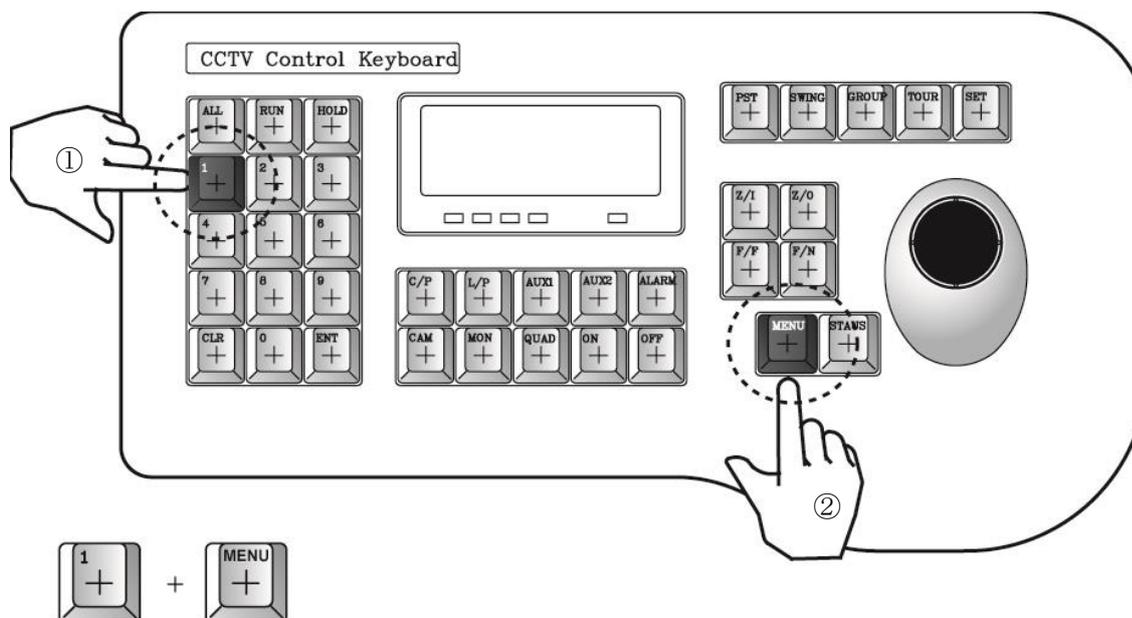
3.4.1.OSD メニューコントロール

■ OSD (ON SCREEN DISPLAY) メニューコントロール

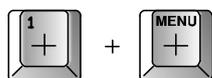
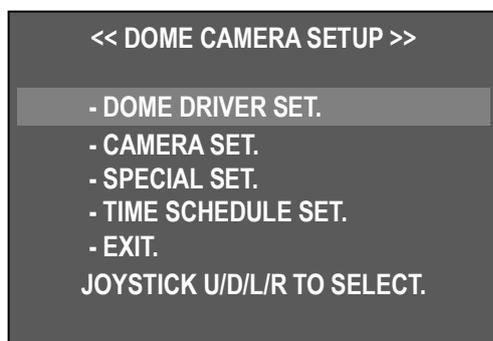
カメラのメニューを呼び出す機能です。

- ◆ユーザーはメニューでカメラのプリセット、グループ、ツアー、スイング、トレース機能を設定するだけでなく、キーを短く押して設定することもできます。

■ OSD MENU 入力



ユーザーが No.1 とメニューキーを押すと、キートーンで画面にメニューが表示されます。

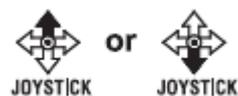


■ OSD メニューのキャンセル

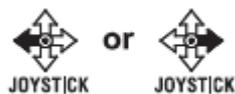
- No. 1 + Menu ボタンを押します。

■ OSD Menu コントロール

-ジョイスティックを上下に動かしてカーソルを移動します。



-メニューを選択するか、設定に変更してジョイスティックの左右に移動します。



3.4.2. メニュー機能

■ OSD メニューツリー

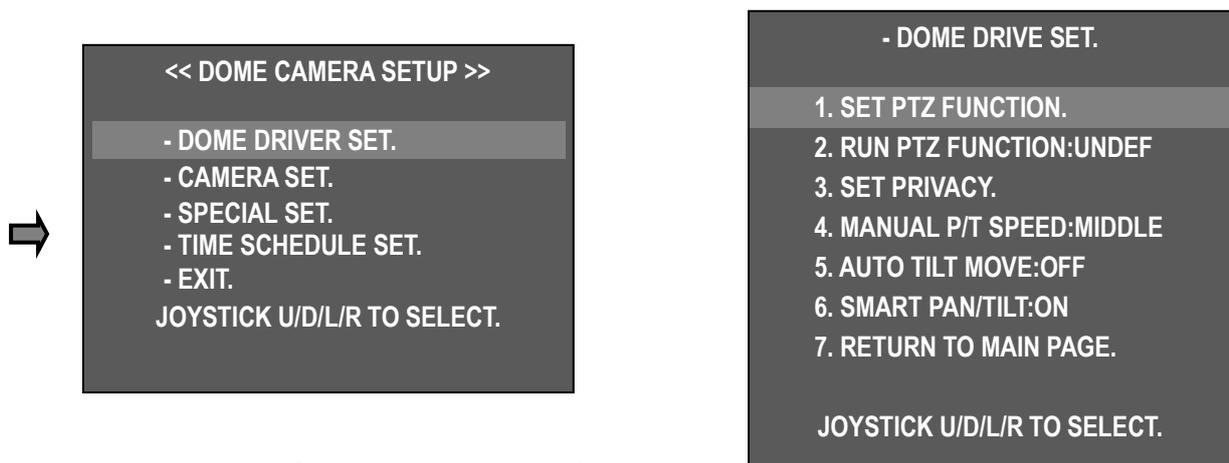
メインメニュー	サブメニュー1	サブメニュー2	
DOME ドライバー設定	SET PTZ FUNCTION	SELECT PRESET	
		PRESET ID SET	
		PRESET PTZ SET	
		SWING SET	
		GROUP SET CH:01~12	
		TOUR SET	
		TRACE SET	
	PREVIOUS MENU PAGE		
	RUN PTZ FUNCTION	n/a	
	SET PRIVACY		
	MANUAL P/T SPEED		
	AUTO TILT MOVE		
	SMART PAN/TILT		
	RETURN TO MAIN PAGE		
カメラ設定	ID SET	n/a	
	H-V REVERSE		
	AGC CONTROL		
	SHUTTER SPEED		
	SHARPNESS LEVEL		
	COLOR LEVEL		
	NEXT MENU PAGE		
	└ DNR LEVEL		
	└ FOCUS MODE		
	└ MAX ZOOM LIMIT		
	└ DSS CONTROL		
	└ BACK LIGHT MODE		(WDR / HLC / BLC / DEFOG) SET
	└ WHITE BALANCE		n/a
	└ DAY&NIGHT		
└ PREVIOUS PAGE			
	RETURN TO MAIN PAGE		
特別設定	OSD DISPLAY	n/a	
	SELECT ALARM		
	MOTION DETECTION		
	ALARM CHANNEL ON/OFF		
	ALARM PRESET SET		
	AUTO REFRESH TIME		
	NEXT MENU PAGE		
	└ USE SHORTCUT KEY		
	└ RUN DEHUMIDIFICATION		
	└ LANGUAGE		
	└ USE PASSWORD		
	└ CHANGE PASSWORD		
	└ FACTORY RESET !		
	└ PREVIOUS PAGE		
	RETURN TO MAIN PAGE		
時間予約設定	SCHEDULE FUNCTION SET	n/a	
	SCHEDULE BACKLIGHT SET		
	RESUME TIME SET		
	HOME POSITION SET		
	TIME SET		
	RETURN TO MAIN PAGE		
EXIT	n/a	n/a	

-ドームドライバー設定	: パン、チルト、またはさまざまな監視機能を設定します。
- カメラ設定	: ビデオ、画面表示機能を設定します。
- 特別設定	: モーション検出、アラーム、マルチ言語、パスワード、工場出荷時のデフォルト設定
- 時間予約設定	: このメニューでは、さまざまな機能のタイムスケジュールを設定できます。
- 閉じる	: OSD メニューから出る

■ DOME ドライバー設定

1. PTZ 機能を設定する

プリセット、スイング、グループ、ツアー、トレースを設定または実行します。



メインメニューで「ドームドライバー設定」を選択し、ジョイスティックを左右に動かしてサブメニューリストを表示します。

「1. PTZ 機能の設定」を選択し、ジョイスティックを左右に動かして各種の監視機能一覧を表示させます。

1). プリセットチャンネルの選択

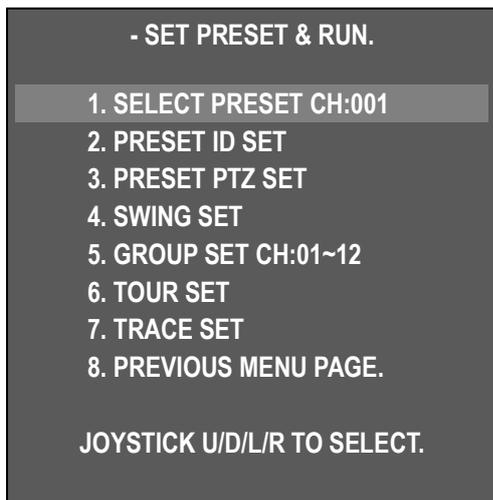
- プリセット番号を設定する
- ジョイスティックを左右に動かしてプリセット No を設定します。

◀ : Number up / ▶ : Number down

◆ 最大値を設定します。 250 プリセット番号

2). プリセット ID セット

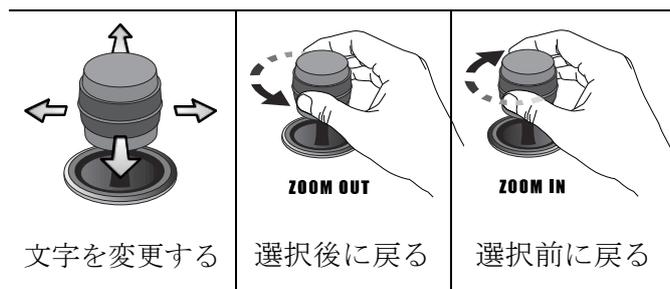
- ユーザーは各プリセット番号の ID を設定できます。
- 「2. PRESET ID SET」を選択し、ジョイスティックを左右に動かし、プリセット ID オプションの入力を表示します。



PRESET CH:001[PRESET:001]

!"\$%&'()*+,-./01234567
 89:;<=>?@ABCDEFGHIJKLMNO
 PQRSTUVWXYZ[¥]^_`abcdefg
 hijklmnopqrstuvwxyz{|}~°C

ZOOM(IN/OUT), ID SHIFT.
 F/F SAVE, F/N NOT SAVE.



3). プリセット PTZ 設定

- プリセット設定メニュー

"1.プリセットチャンネル選択 " そして "2. プリセット ID "を保存

- SET PRESET & RUN.

1. SELECT PRESET CH:001
2. PRESET ID SET
3. PRESET PTZ SET
4. SWING SET
5. GROUP SET CH:01~12
6. TOUR SET
7. TRACE SET
8. PREVIOUS MENU PAGE.

JOYSTICK U/D/L/R TO SELECT.

⇒

[SAVE] [DELETE] [RETURN]

F/F SELECT, F/N SHIFT MENU.

PRESET:001

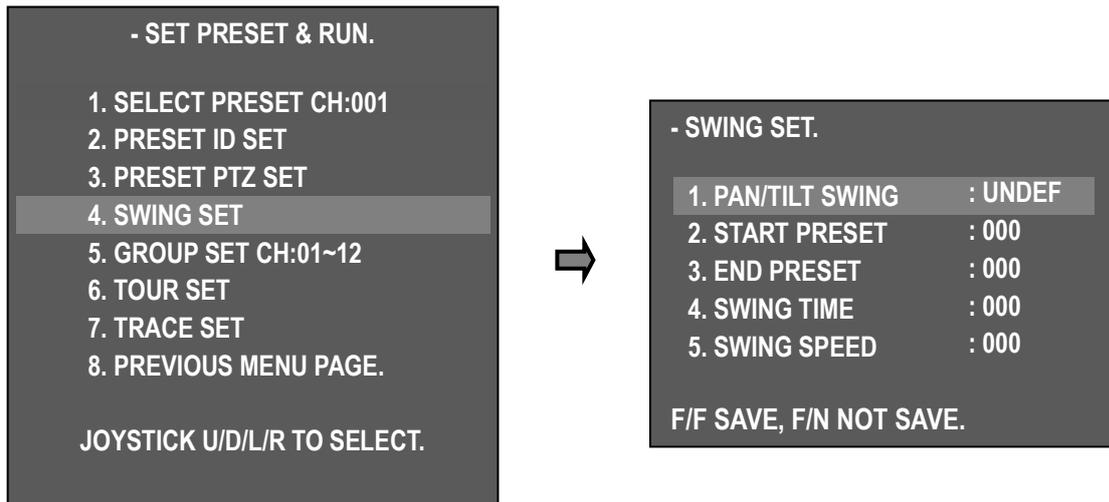
ジョイスティックを上/下/左/右に動かすことによって、メニューに移動します。

F/N [保存]→[削除]→[戻る]を押し、カーソルを移動して F/F を押してメニューを選択します。

- [保存]: 保存して前の画面に移動
- [削除]: プリセットを削除
- [戻る]: 前のスクリーンに戻る(キャンセル)

4). スウィング設定

- SWING はカメラに 2 つの選択された位置間を移動するように命令し、ルートを監視する。



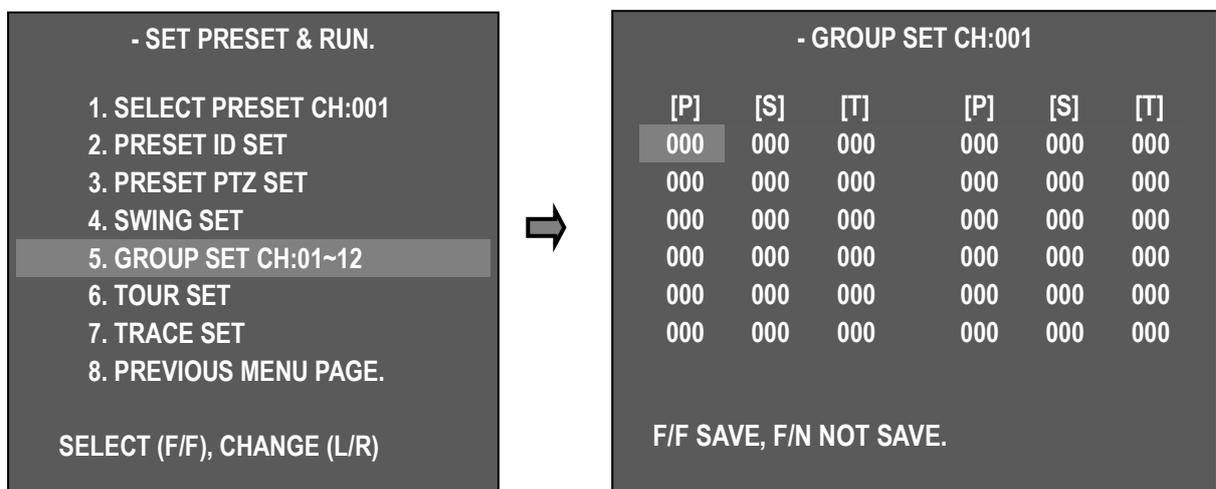
 or  : 移動メニュー

 or  : 変更設定

1. PAN/TILT スウィング	TILT - 上下に移動します。 PAN - 左右に移動します。
2. プリセット開始	Swing で開始プリセットポイントを設定します。
3. プリセット終了	スウィングの終了プリセットポイントを設定します。
4. スウィング時間	スウィング動作の継続時間を設定します (1~127)
5. スウィングスピード	移動速度を設定する (1~64)

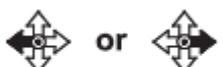
5). グループ設定 CH: 1~12

ユーザーは Max を設定できます。 12 個のグループがあり、各グループには 12 個のプリセット



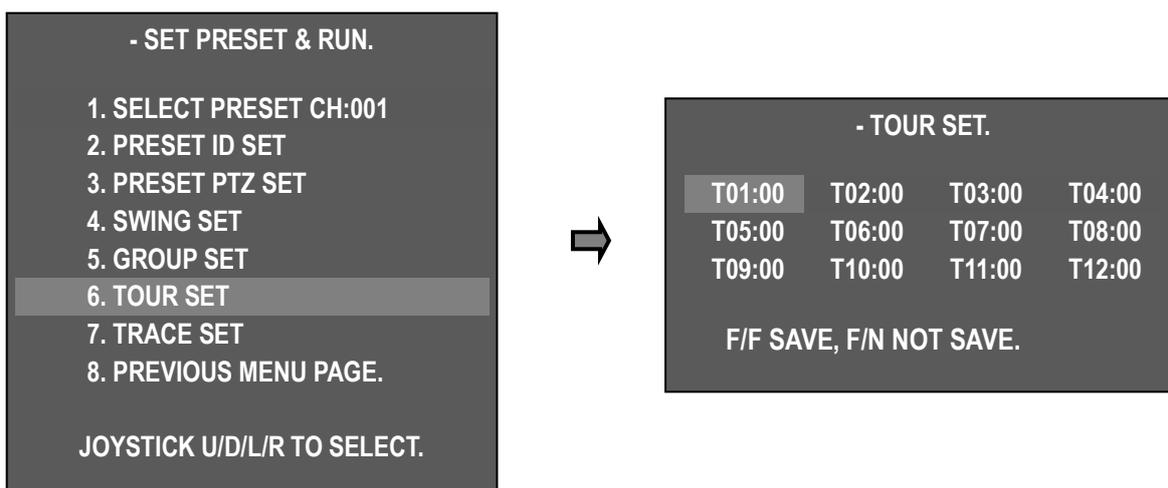
ポイントが含まれています。

[P]	PESET : PRESET No にする (PRESET No を保存する)
[S]	SPEED : 移動速度の設定 (1~64) 1 <64
[T]	TIME : 持続時間を設定します (1~127 秒)

 JOYSTICK 次のメニューへ移動	 JOYSTICK 前のメニューへ移動	 JOYSTICK or JOYSTICK 設定を変更する
--	--	--

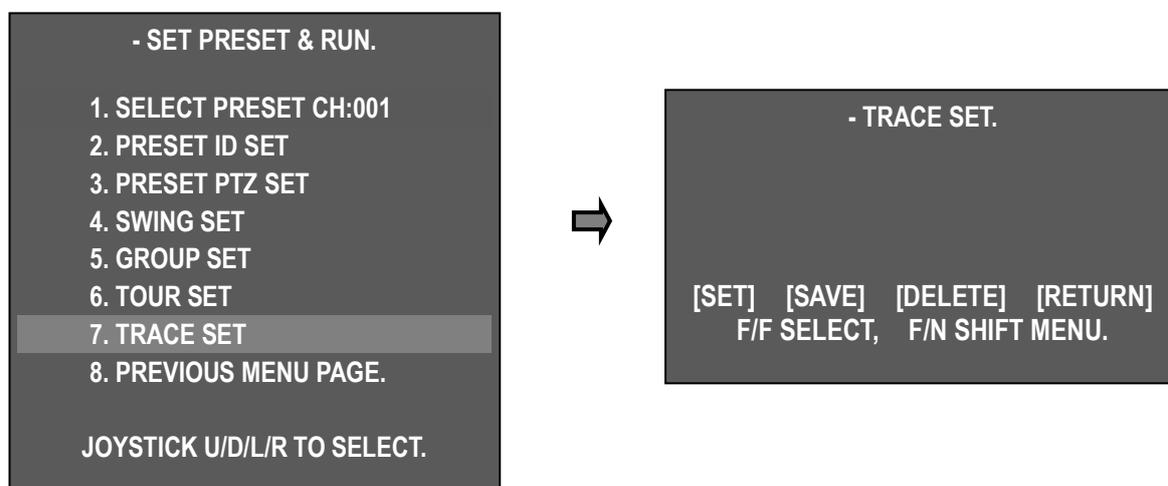
6). ツアー設定

ツアーは 12 グループに分かれています。



7). トレース設定

最大のジョイスティックパターンの動きを保存します。ジョイスティックの移動を 180 秒間実行します。



■ トレース設定

① "7. ツアー 設  定"

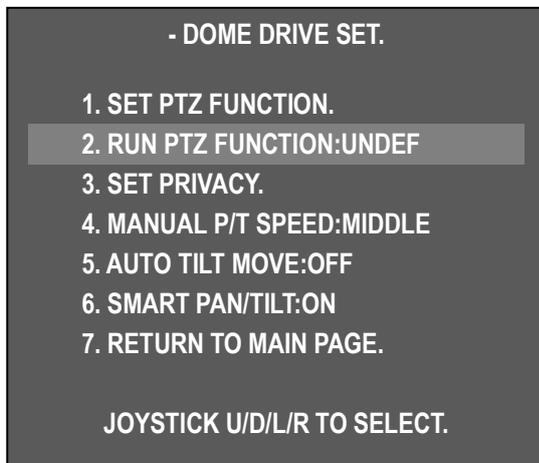
JOYSTICK

- ② F / N ボタンを押して「SET」モードを選択→ジョイスティックで最大 180 /秒の位置にカメラを移動する。
- ③ すべての作業を終えたら、カーソルをセーブモードにする→F / N ボタンを押してジョイスティックの動きを保存する。

- [設定]: トレース設定を開始
- [保存]: スクリーンの保存
- [削除]: トレースの削除
- [戻る]: 前の OSD スクリーンへ戻る (キャンセル)

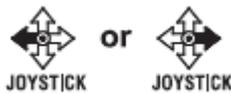
8). "前のメニューページ "- ジョイスティックを右に動かすと、前のメニュー画面に戻ります。

2. PTZ 機能を実行する



キーボードなしで様々な監視機能が実行されます。

"2. ジョイスティックを
- TOUR - TRACE を選択し
目的の機能を選択し、



左右に動かして、目的の機能、SWING - GROUP
ます。

OSD メニューから選択した機能を自動的に実行

選択した機能アイコンを画面に表示します。



: スイング



: グループ



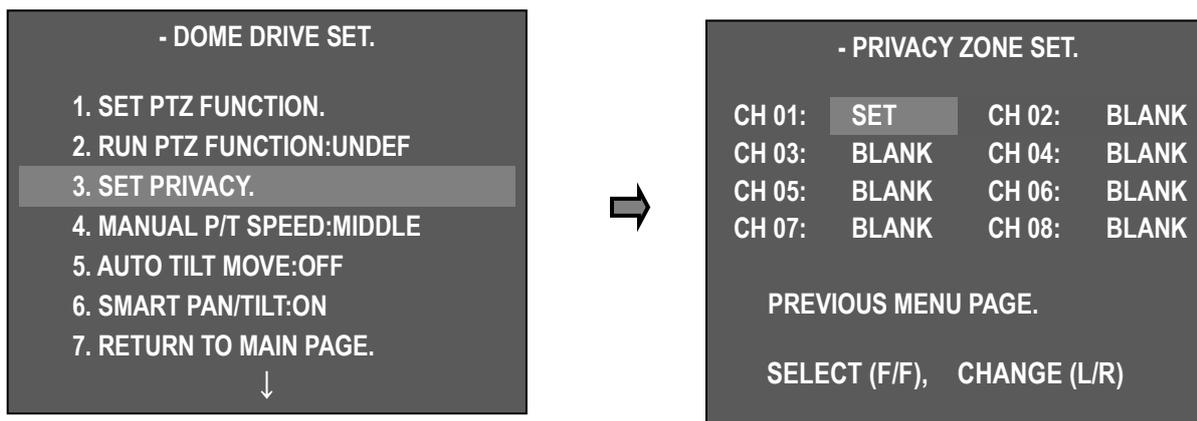
: ツアー



: トレース

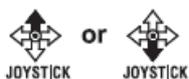
3. プライバシー設定

プライバシー保護のために最大 8 つのプログラム可能なプライバシーゾーンを設定することができます。



■ 設定

- DOME DRIVE SET → SET PRIVACY → Enter PRIVACY ZONE SET モード

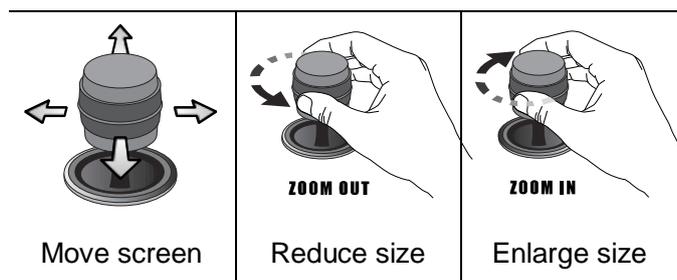


ジョイスティックを目的のチャンネルで上下に動かし、「F / F」キーを押して画面の中央に黒いボックスを表示します。



-非表示にするカメラの位置を移動する

-ズームイン/アウトを使用してプライバシーゾーンサイズを選択します。



-プライバシーゾーンの設定 - ボックスサイズの調整 -

"F / F"キーでプライバシー設定を保存し、前のメニューに戻る

「F / N」キーを押すと、プライバシーゾーンの設定が保存されず、前の画面に戻ります。

注意) PRIVACY ZONE の精度を 45 度未満に設定することはできません

- PRIVACY ZONE SET.			
CH 01:	OFF	CH 02:	BLANK
CH 03:	BLANK	CH 04:	BLANK
CH 05:	BLANK	CH 06:	BLANK
CH 07:	BLANK	CH 08:	BLANK

-ジョイスティックを左右に動かすことで、プライバシー設定のチャンネルを順番に切り替えるように SET-ON-OFF-DEL に変更されています。

-希望のモードを選択し、F / F を押して選択したメニューを実行します。

SET	ON			OFF	DEL
Set new privacy area	Display privacy area	Hide privacy area	Remove privacy area		

4. 手動 P/T 速度

ユーザーは、上下制御の最大速度を制御できます。

モードは Low、Medium、Max です。

5. オートチルト移動

カメラの角度が最大に下がると、PAN は自動的に 180 度回転します。したがって、連続的に物体を追跡することができます The



- DOME DRIVE SET.	
1. SET PTZ FUNCTION.	
2. RUN PTZ FUNCTION:UNDEF	
3. SET PRIVACY.	
4. MANUAL P/T SPEED:MIDDLE	
5. AUTO TILT MOVE:OFF	
6. SMART PAN/TILT:ON	
7. RETURN TO MAIN PAGE.	
JOYSTICK U/D/L/R TO SELECT.	

6. SMART PAN / TILT

この機能はパン/チルト速度を自動的にズーム倍率にします。

■ カメラ設定

1. ID 設定

設定されたカメラ ID は最大 16 文字の英字で、ジョイスティックで希望の文字を選択し、F / F キーとメニューからカメラ ID を保存することができます。

<< DOME CAMERA SETUP >>	
- DOME DRIVER SET.	
- CAMERA SET.	
- SPECIAL SET.	
- TIME SCHEDULE SET.	
- EXIT.	
JOYSTICK U/D/L/R TO SELECT.	

- CAMERA SET.

1. ID SET(PRESS F/F KEY).
2. H-V REVERSE : NORMAL
3. AGC CONTROL : ON
4. SHUTTER SPEED : AUTO
5. SHARPNESS LEVEL : 07
6. COLOR LEVEL : 14
7. NEXT MENU PAGE.
8. RETURN TO MAIN PAGE.

JOYSTICK U/D/L/R TO SELECT.



SET ID[_ CAM-000]

!"\$%&'()*+,-./01234567
89:;<=>?@ABCDEFGHIJKLMNO
PQRSTUVWXYZ[¥]^_`abcdefg
hijklmnopqrstuvwxyz{|}~°C

ZOOM(IN/OUT), ID SHIFT.
F/F SAVE, F/N NOT SAVE.

2. H-V リバース

H-V リバースモードを設定します。

- 正常
- H-REV : 画像を画面上で水平方向に反転させます。
- V-REV : 画像を画面上で上下に反転させます。
- HV-REV : 画像を画面上で上下左右に反転させます。

3. AGC コントロール

AGC (Automatic Gain Control) - ビデオ増幅の量を調整して、1V ピーク・トゥ・ピークのビデオ信号を自動的に出力します。

- ▶ ON, OFF

4. シャッタースピード

- CAMERA SET.

1. ID SET(PRESS F/F KEY).
2. H-V REVERSE : NORMAL
3. AGC CONTROL : ON
4. SHUTTER SPEED : AUTO

↓

- CAMERA SET.

1. ID SET(PRESS F/F KEY).
2. H-V REVERSE : NORMAL
3. AGC CONTROL : ON
4. SHUTTER SPEED : AUTO

↓

↑

2. H-V REVERSE : NORMAL
3. AGC CONTROL : ON
4. SHUTTER SPEED : AUTO
5. SHARPNESS LEVEL : 07
6. COLOR LEVEL : 14

↓

- CAMERA SET.

1. ID SET(PRESS F/F KEY).
2. H-V REVERSE : NORMAL
3. AGC CONTROL : ON
4. SHUTTER SPEED : AUTO

↓

カメラの電子シャッター速度を調整します。

工場出荷時のデフォルト : Auto

▶ 範囲 : A.FLICKER、AUTO、1/60~1/30000

5. シャープネスレベル

形状の補償

▶ 範囲 : 1~10、デフォルト : 07

1. ID SET(PRESS F/F KEY).	
2. H-V REVERSE	: NORMAL
3. AGC CONTROL	: ON
4. SHUTTER SPEED	: AUTO
5. SHARPNESS LEVEL	: 07

↓

6. カラーレベル

画像の彩度を調整します。数字が小さくなると、彩度は低くなり、黒に近づきます。数字が大きくなると、色が深くなります。

▶ 範囲 : 0~20、デフォルト : 14

7. 次のメニューページ

▶ 次のメニューページへ進む

8. メインページに戻る

▶ 前のページへ戻る

9. DNR レベル

最小限の照明のノイズを低減し、ノイズの効果的な低減によって DVR が記録されている間にファイルサイズが小さくなります。

▶ OFF, 低, 中, 高

◆ cf. AGC オフでは使用できません

10. フォーカスモード

フォーカスモードを手動または自動に変更します。

▶ 手動: ユーザーは手動でフォーカスを設定できます。

▶ 自動: 被写体の動きとして自動フォーカスを実行します

▶ ONE SHOT : オートフォーカスモードはズーム動作中に機能します

- CAMERA SET.	
9. DNR LEVEL	: MIDDLE
10. FOCUS MODE	: ONE SHOT
11. MAX ZOOM LIMIT	: x10
12. DSS CONTROL	: 4FIELDS
13. BACK LIGHT MODE	: OFF

↓

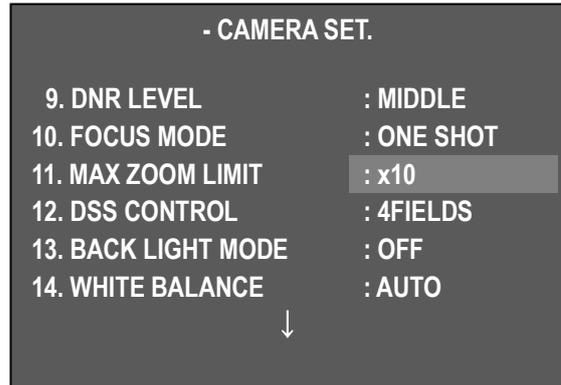
- CAMERA SET.	
9. DNR LEVEL	: MIDDLE
10. FOCUS MODE	: ONE SHOT
11. MAX ZOOM LIMIT	: x10
12. DSS CONTROL	: 4FIELDS
13. BACK LIGHT MODE	: OFF
14. WHITE BALANCE	: AUTO

↓

11. 最大ズーム制限

ユーザーがズームの最大値を設定する関数として、フォーカスの拡張範囲を修正して制限する場合に使用します。（デジタルズーム範囲の設定が可能）

- ▶ x10(Optical zoom): MAX ZOOM LIMIT OFF status
- ▶ x320(dz) → (Digital zoom)



12. DSS コントロール

イルミネーションでフィールド値が高くなるとオブジェクトがクリアになります。最大 4 フィールド移動し、移動物体は暗くなります。

- ▶ Range : Off, 2 ~ 4 フィールド

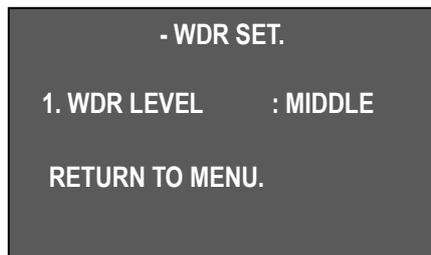
13. バックライトモード



厳しいバックライトに対して、オブジェクトとバックグラウンドの明確な画像を提供します。

- ▶ OFF : バックライトを無効にする
- ▶ WDR : バックライトを有効にする
- ▶ HLC: ハイライトバックライトを有効にします。
- ▶ BLC : バックライト補正を使用する
- ▶ DEFOG : フォグレベルを補正します

"F / F"キーでバックライトモードを選択します。



WDR 設定

- WDR LEVEL : WDR の感度、Low または Middle または Max を設定します。

- HLC SET.

1. HLC LEVEL : MIDDLE
2. HLC COLOR : BLACK

RETURN TO MENU.

HLC 設定

- HLC LEVEL: HLC レベルを LOW、MIDDLE、MAX に設定
 - HLC COLOR: グレー、グレー、ブラックを設定します。
- 強調表示された画像はグレー、グレー、ブラックに変わります。

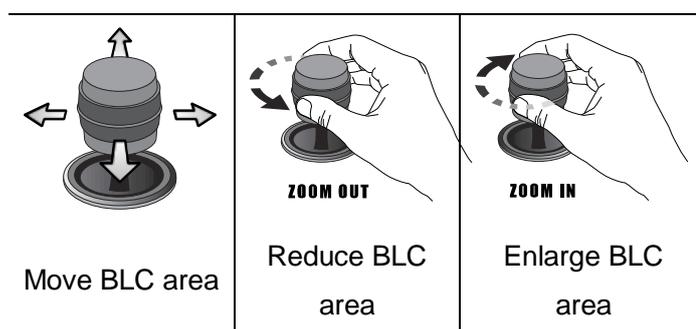
BLC 設定

- BLC エリア設定

- ① 13.BACK LIGHT MODE → BLC モードで "F / F"キーを押すと、BLC エリア設定メニューに入ります。

- BLC AREA SET.

F/F SAVE, F/N NOT SAVE.



- ② ジョイスティック ZOOM IN / OUT により、BLC エリアの移動、BLC エリアの縮小、BLC エリアの拡大が可能です。

- DEFOG SET.

1. DEFOG MODE : AUTO
2. DEFOG LEVEL : MIDDLE

RETURN TO MENU.

DEFOG 設定

フォグ、スモッグなどが監視機能の低下を引き起こすと、DEFOG はクリア画像を復元するのに役立ちます。

- DEFOG モード: 手動 / 自動
- DEFOG レベル: 低 / 中 / 高

14. ホワイトバランス

ホワイトバランスメニューは、異なる照明条件で画面の色のバランスを調整します。

- ▶ 自動: 自動的に色を補正します。
- ▶ 屋内: 屋内環境に合わせて色を補正します。
- ▶ 屋外: 屋外環境に合わせて色を補正します。

15. DAY&NIGHT

デイ&ナイト機能により、カメラはカラーモードと白黒モードを切り替えることができます。DSS 制御機能により最適条件を設定する。

- ▶ NIGHT MODE: ほとんどの場合は BW モード
- ▶ AUTO SLOW: 低照度下で DAY&NIGHT モードで動作します。
- ▶ AUTO FAST: DAY&NIGHT モードの高照度で動作します。
- ▶ DAY MODE: ほとんどの場合が COLOR モード

※初期値は AUTO SLOW で、ほとんどカラーモードを維持します。

16. 前のページ

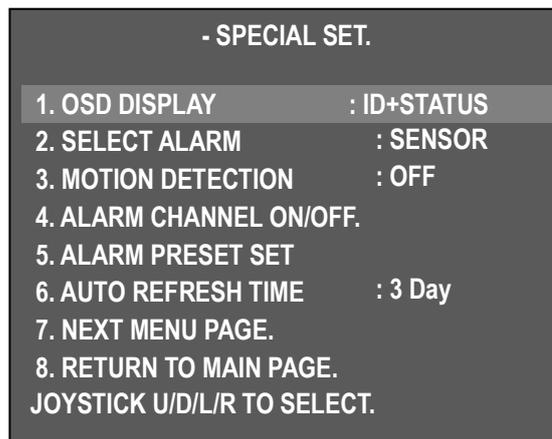
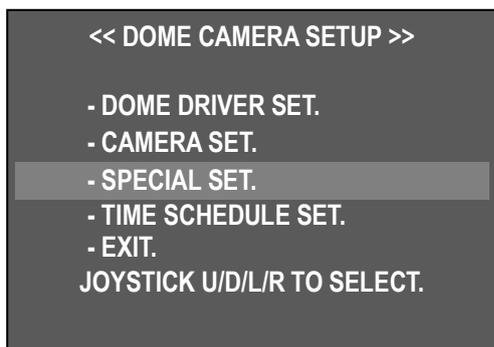
前の画面に戻る。

- CAMERA SET.	
9. DNR LEVEL	: MIDDLE
10. FOCUS MODE	: ONE SHOT
11. MAX ZOOM LIMIT	: x10
12. DSS CONTROL	: 4FIELDS
13. BACK LIGHT MODE	: OFF
14. WHITE BALANCE	: AUTO
15. DAY&NIGHT	: AUTO SLOW
16. PREVIOUS PAGE	
PRESS F/F SET BACKLIGHT	

- CAMERA SET.	
9. DNR LEVEL	: MIDDLE
10. FOCUS MODE	: ONE SHOT
11. MAX ZOOM LIMIT	: x10
12. DSS CONTROL	: 4FIELDS
13. BACK LIGHT MODE	: OFF
14. WHITE BALANCE	: AUTO
15. DAY&NIGHT	: AUTO SLOW
16. PREVIOUS PAGE	
PRESS F/F SET BACKLIGHT	

■ 特別設定

1. OSD ディスプレイ



画面に ID またはステータスを表示する

- ID +ステータス : 'ID'と 'ステータス'のみを表示
- ID のみ : 'ID'のみを表示
- STATUS ONLY : 'ステータス'のみを表示する
- ALL OFF : 表示なし

注意) アイコンは画面のどの状態でも保持してください。

2. アラーム選択

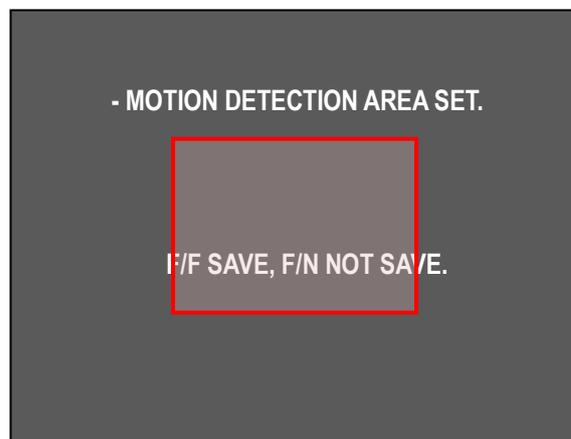
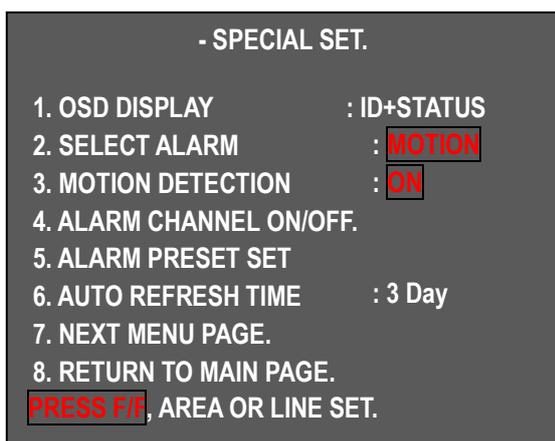
アラームセンサータイプを選択します。

- ▶ センサー / モーション

3. モーション検出

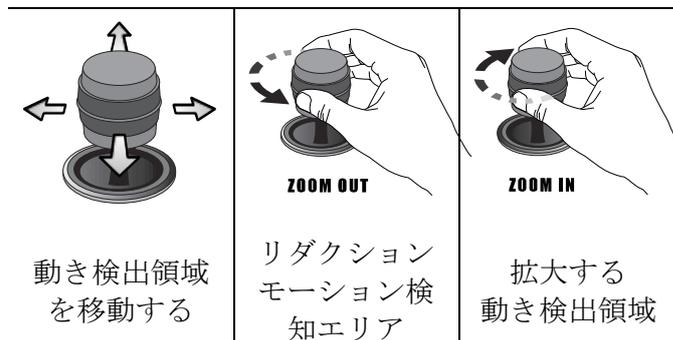
動きが指定された領域で認識されたかどうかを検出すると、画面に「動き検出」メッセージが表示され、キーボードのビープ音が鳴ります。

PTZ機能は、モーション検知が "オン"のときは動作しません。モーション検知が特定のエリアの動きを検知した場合、カメラがパン、チルト、ズームを動かすとモーション検知を正しく認識しません。



■動き検出を設定する

- ① "2. SELECT ALARM". "motion"を選択。
- ② "3. MOTION DETECTION" select "ON" F / F キーを押してモーション検知エリア設定モードに切り替える。



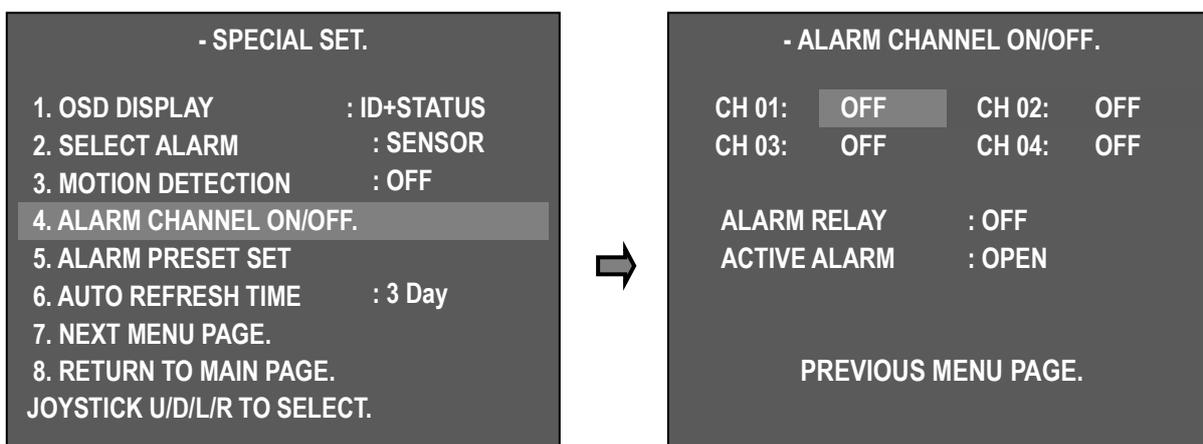
③ ジョイスティックでモーション検知エリアを設定し、ジョイスティックのズームイン/アウトでモーション検知エリアサイズを調整します。

④ "F / F"を押すとモーション検出設定を保存し、前のメニューに戻ります。

モーション検出を選択する：「オン」にすると、指定されたモーション検出エリアでモーションが検出された場合、画面に「モーション検知」というメッセージが表示されます。

4. ALARM CHANNEL ON/OFF

-各チャンネルのアラーム入力のオン/オフを設定します。



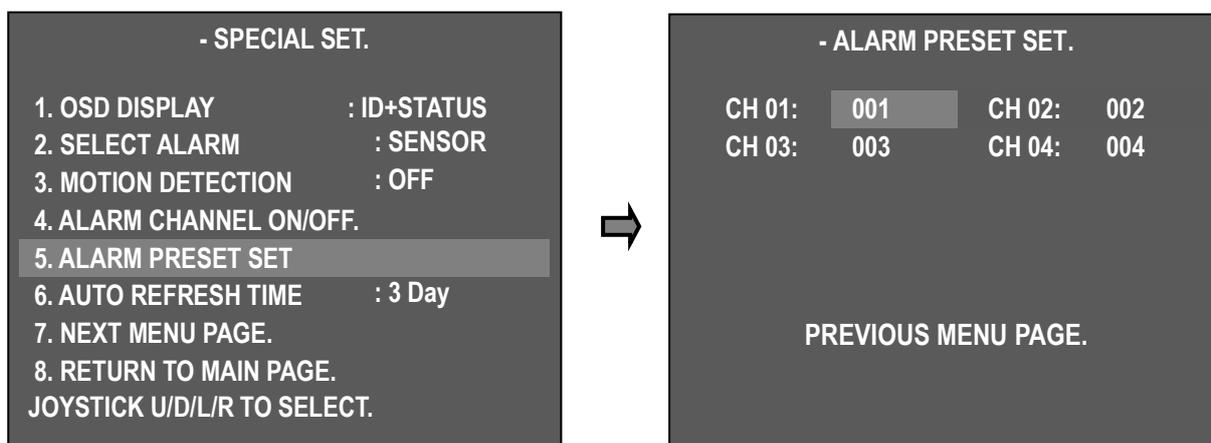
- ALARM CH On / Off : アラーム入力 - 各チャンネルの ON / OFF が可能です。

- 信号接続に応じて、ユーザは ACTIVE OPEN (N / C) または ACTIVE CLOSE (N / O) を選択できます。

-ユーザが ACTIVE OPEN を選択すると、アラーム入力が開いているときにアクティブになり、ACTIVE Close を選択すると、アラーム入力クローズになったときにアクティブになります。

5. ALARM PRESET SET

- 誤った信号が各 ALARM CHANNEL で検出されると、カメラはプリセットポイントに自動的に移動できます。
- 間違っただ信号が検出された場合、最初にプリセットポイントを移動して設定し、プリセット番号を各アラームチャンネルに設定します。
- ALARM チャンネルを "OFF" に設定し、関連するプリセットポイントを移動しない
- PRESET ポイント番号 1~250 を選択して設定できます。
- 確認されたアラーム状態がキーボードに表示され、間違っただ信号が検出された場合、キー



ボードはビープ音を鳴らし、セキュリティマネージャはアラーム位置の状態を確認することができます。

多くのカメラのアラームをチェックすると、アラームが検出されたときに制御キーボードに信号を送信するのに時間がかかることがあります。カメラは特定のプリセット位置を自動的に移動します。

CONTROL KEYBOARD ユーザーマニュアルを参照してください

6. AUTO REFRESH TIME

- フォーカスノーマル動作のために自動的に初期化します。
- ▶ OFF、6 時間~18 時間、1 日~7 日間。

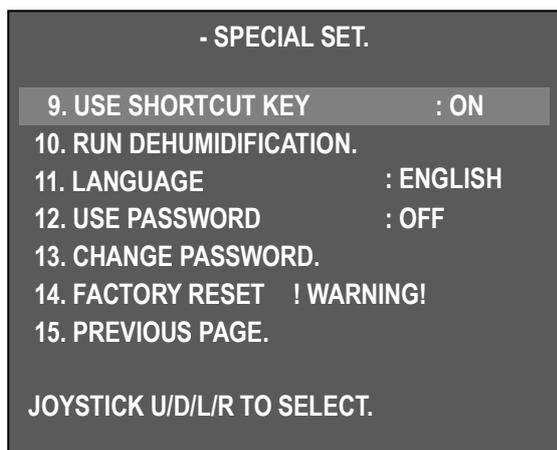
◆ F / F キーを押してフォーカスを初期化する

7. NEXT MENU PAGE.

- ▶ 次のページに進みます。

8. RETURN TO MAIN PAGE.

- ▶ 前のページに戻ります。



9. USE SHORTCUT KEY

- ショートカットキーを使用すると、一部の機能をより高速かつ簡単に実行できます

- ▶ ON : ショートカットキーを使用する
- ▶ OFF : ショートカットキーを使用しない

■ ショートカットキーメニュー

機能	Operation	機能	Operation
グループ 1	51 + プリセット	Run Tilt Swing	65 + プリセット
グループ 2~11	52 ~61 + プリセット	Run Trace	66 + プリセット
グループ 12	62 + プリセット	Run Spiral	67 + プリセット
Run ツアー	63 + プリセット	OSD Menu ON/OFF	95 + プリセット
Run パンスウィング	64 + プリセット		

注意) すべてのプロトコルでこの機能を実行することができます。

10. RUN DEHUMIDIFICATION (屋内型ファンの場合にのみ動作します)

- カメラが悪天化の元で操作される場合、カメラのガラスが湿気により曇ったりすることにより監視することが困難になります。しかしこの機能が作動することによりカメラの曇ったガラスを正常の綺麗な状態に戻してくれるというものです。ファンヒーターを使用するので、湿気を完全に取り除くにはおよそ10分ほど作動に時間がかかります。この機能を作動するには OSD メニューから作動することが可能です。

- ▶ Turn ON : 1 + AUX1 + ON
- OFF : 1 + AUX1 + OFF



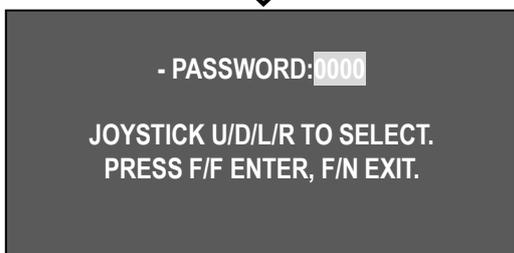
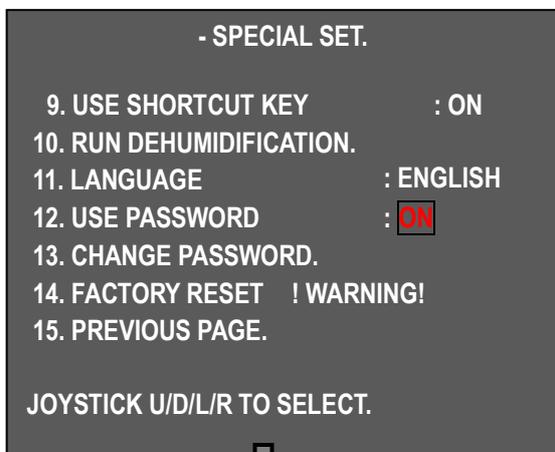
D-max のプロトコルで除湿を設定することが可能です。それは、画面上にアイコンを表示されています。

11. 言語

- マルチ言語

▶ 英語

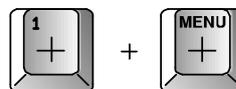
12. パスワードを使用する



PTZ 操作のセキュリティのためのユーザー・パスワードを指定します。

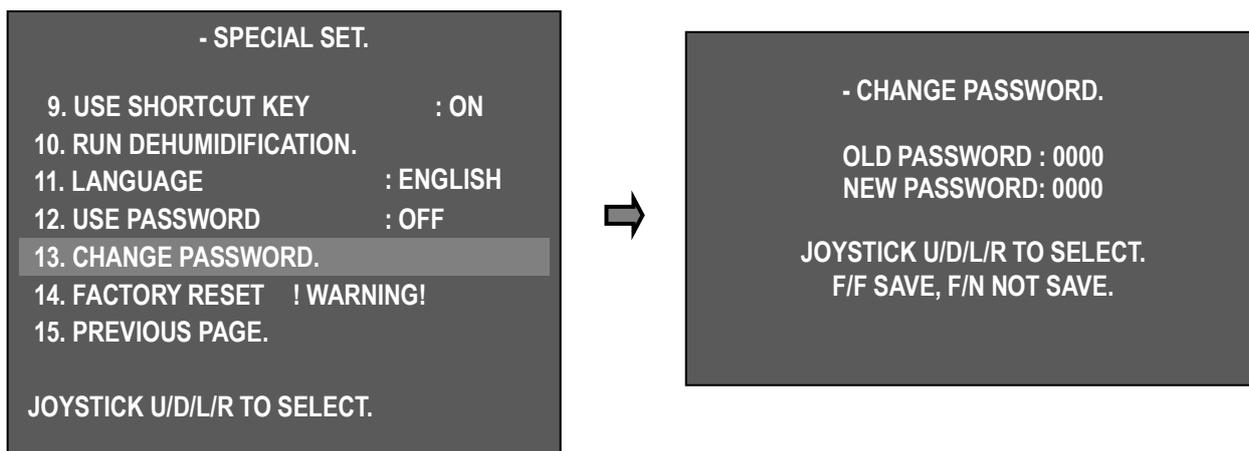
- 12.ON/OFF ジョイスティックで USE PASSWORD を選択

- ON を選択し、OSD メニューに入る前にパスワードの質問を表示します。



13. パスワード変更

- "13. CHANGE PASSWORD" ジョイスティック左/右でパスワードを選択することができます。



-新しいパスワードはジョイスティック上/下/左/右で
選択します。初期パスワードは「0000」に指定されています。

- F/F キー：パスワードが保存されます。保存されたら前のメニューに戻ります。

- F/N キー：パスワードが保存されていない場合は、前のメニューに戻りません。

注意) パスワードを忘れてしまった場合、**秘密パスワード**を使用します
秘密パスワード：7233は、セキュリティのためにパスワードを変更してください。

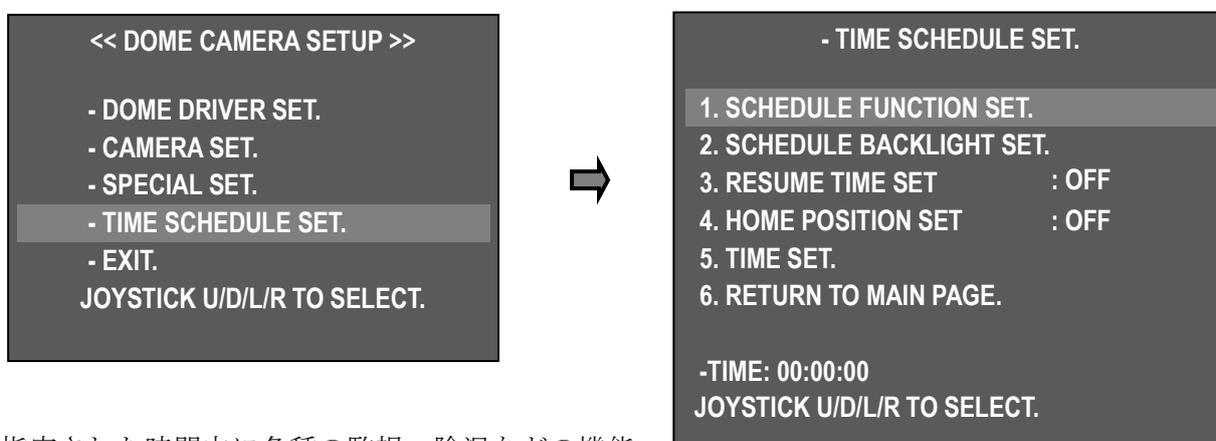
14. 初期設定

初期状態に設定します。

注意) 現在のメニュー設定を削除します。

■ 時間スケジュール設定

1. スケジュール機能設定



指定された時間内に各種の監視、除湿などの機能を動作するように設定します。

タイムスケジュールセット>スケジュール機能
セットを順に選択します。

- SCHEDULE FUNCTION SET.		
[FUNCTION]	[NO]	[STRT~END]
1.PRESET	OFF	00/00~00/00
2.GROUP	OFF	00/00~00/00
3.SWING	OFF	00/00~00/00
4.TOUR	OFF	00/00~00/00
5.TRACE	OFF	00/00~00/00
6.DEFOG	OFF	00/00~00/00
7.DEHUMIDITY	OFF	00/00
8.LENS INIT	OFF	00/00
9.PREVIOUS MENU PAGE.		

JOYSTICK U/D/L/R TO SELECT.

Move Menu:  or 

Change Setting Value:  or 

1. プリセット、グループ、スケジュールの設定：**[ファンクション]**でジョイスティックを上下に動かしてプリセットまたはグループを選択します。**[NO]**で保存した **PRESET No.**または**GROUP No.**を選択し、**[START~END]**で **PRESET** または

GROUP の動作開始時間と停止時間を設定します。

※**[START~END]**は時/分を表し、時間は24時間以内に設定されます。

※**PRESET**、**GROUP**、**SWING**、**TOUR**、**TRACE**、**DEFOG** は、**[FUNCTION]** 1~6 に重ねて表示できます。時間が重なった時の誤動作に注意してください。

2. **SWING SCHEDULE** を設定する：**[FUNCTION]**で **SWING** を選択します。**[NO]**で **PAN** または **TILT** を選択し、**[START~END]**で **SWING** の動作開始時間と停止時間を設定します。

※**SWING** には **PAN** または **TILT** のいずれかを設定できます。

3. **TOU** と **TRACE** スケジュールを設定する：**[FUNCTION]**で **TOUR** または **TRACE** を選択します。**[NO]**で **ON** または **OFF** を選択し、**[START~END]**で **TOUR** または **TRACE** の動作開始時間と停止時間を設定します。

4. **DEFOG SCHEDULE** を設定する：**[FUNCTION]**で **DEFOG** を選択します。**[NO]**で **MANUAL** または **AUTO** を選択し、**[START~END]**に **DEFOG** の動作開始時間と停止時間を設定します。

5. **DEHUMIDITY (= DEHUMIDIFICATION)** スケジュールの設定：**DEHUMIDITY** 機能を **ON** にして運転開始時間を設定すると、ファン&ヒーターは10分間作動します。

※除湿が必要な時期にこの機能を使用してください。

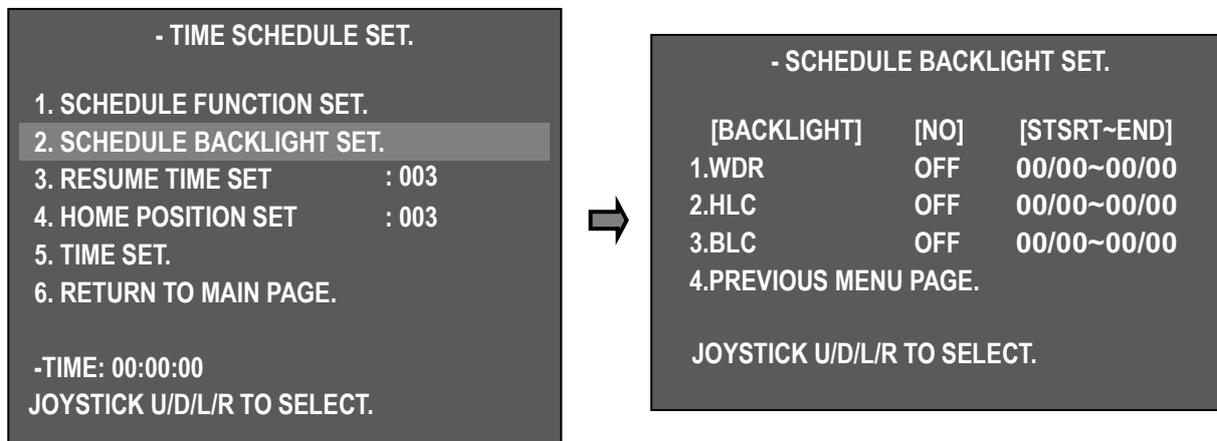
6. レンズ初期設定の設定：レンズのズームとフォーカスは、設定時に初期化されます。

- **LENS INIT** を「**ON**」に設定し、次に動作時間を設定します。

※LENS INIT は、レンズモータの最適化の下でオートフォーカス機能を動作させる際に、常に最適化された状態でレンズを保持するためのものです。

2. SCHEDULE BACKLIGHT SET

この機能は、設定されたバックライト補正が指定された時間に働くようにします。



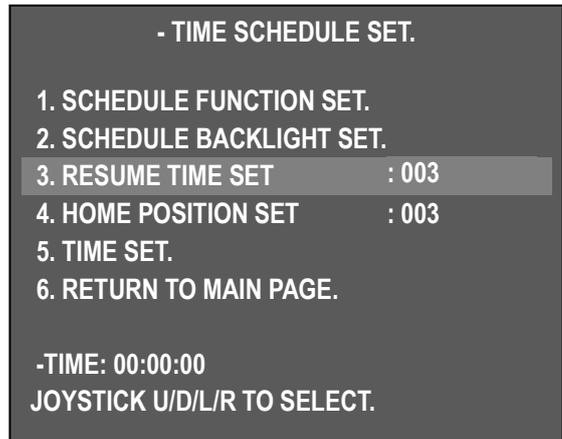
- 「ON」に調整後、WDR / HLC / BLC の中で一定時間動作し、動作開始時間と停止時間を設定します。 SCHEDULE 機能で動作中に停止すると、CAMERA SET の BACKLIGHT 機能で設定した動作となります。

※バックライト 1,2,3 の時間設定が重なった場合の誤動作に注意してください。

3. 再開時間設定

間違った信号が検出された場所を監視するために警告する場所にカメラが移動する遅延時間を選択できます。

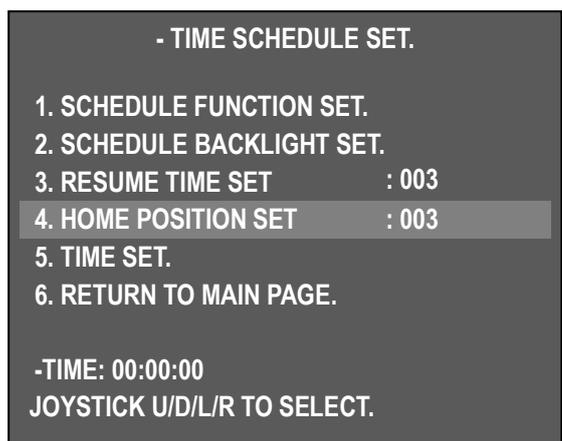
ユーザーは 1 秒～180 秒間設定し、あらかじめ **GROUP**、**TOUR**、**SWING** をあらかじめ設定した時間内に操作することができます。**SWING**、**GROUP**、**TOUR** は、**ALARM** に接続していない場合に操作ジョイスティックを止めると、あらかじめ設定された時間内に操作されます。



再開時間機能が設定されている場合は、このアイコンが画面に表示されます。また再開時間機能が設定されている場合は、**PRESET**、**GROUP**、**TOUR** または **SWING** を設定することができません。機能を設定したい場合は、再開時間機能を「OFF」にする必要があります。

4. ホームポジションセット

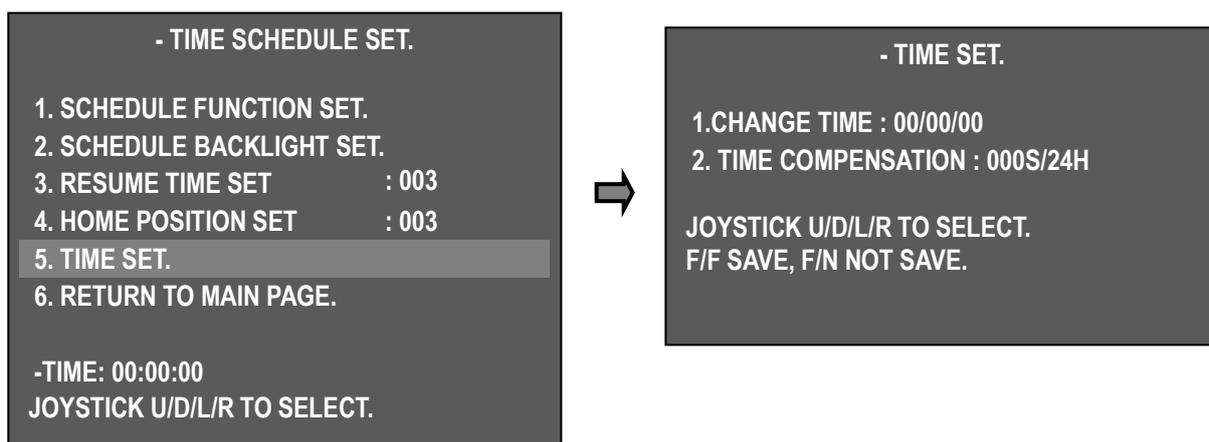
この機能は、**SCHEDULE FUNCTION SET** で **PRESET** を実行しているときに異常なサインが発生した場合に、アラーム位置に移動して監視し、滞在時間を選択できることを示しています。さらに、手動または **PRESET** が実行された後でも、実行されたスケジュールプレセットはこの設定時間の後に再び動作します。ユーザーは 3～180 秒の時間を指定できます。設定時間が経過すると、**SCHEDULE FUNCTION** の **PRESET** が再度実行されます。



EX) **SCHEDULE FUNCTION SET** の **PRESET** が 00 : 00～23 : 59 に設定されている場合、アラーム時の設定時間後、カメラは常にホームポジションに戻ります or manual operation.

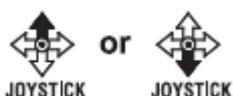
5. 時間設定

この機能は、動作時間と時間を設定することができます。

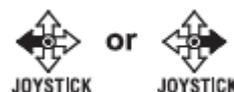


- 「5.TIME SET」でジョイスティックを左右に動かすと、画面に「TIME SET」と表示されます。

• メニュー移動



• 設定値を変更する



- 1). CHANGE TIME : 時間/分/秒の順に時間を設定します。
- 2). 時間補正 : 長時間操作した場合の時間誤差を補正します。 正の数と負の数でも数秒で設定できます。(24時間ベース)

-設定が完了したら、F/F キーを押して保存してください。

ex). 001S/24H → Compensate time one second faster a day(最大 59 秒まで)

-02S/24H → Compensate time two seconds later a day(最大 60 秒まで)

※ネットワーク製品ではないため、長時間使用すると時間が少し変わる可能性があります。停電後 1 時間から 3 時間の電源を切った後、時間を補うことができますが、再度操作して長時間電源を切って使用する場合は、必ず時間を確認してください。

3.4.3. 設定メニュー, Execute and delete by keyboard

1. プリセット設定

最大 250 のプリセットポイントを保存します。

① プリセット設定



② プリセット動作



Move designated preset position after press Preset No and P-SET button.

③ プリセット毎の動作



3 秒間ボタンを押すと、ビープ音が鳴ったら以下の手順に従います。



Ex) Delete No 5 Preset



(Holding 3 seconds)

④ 全てのプリセット動作

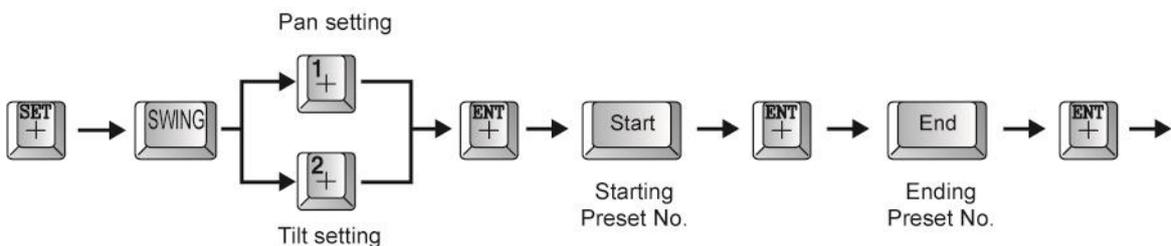


3 秒間ボタンを押すと、ビープ音が鳴ったら以下の手順に従います。



2. スウィング設定

① スウィング設定



動作後の継続時間 (1~127 秒) を設定します

移動速度 (1 ~ 64sec) を設定します。

② スウィングを実行

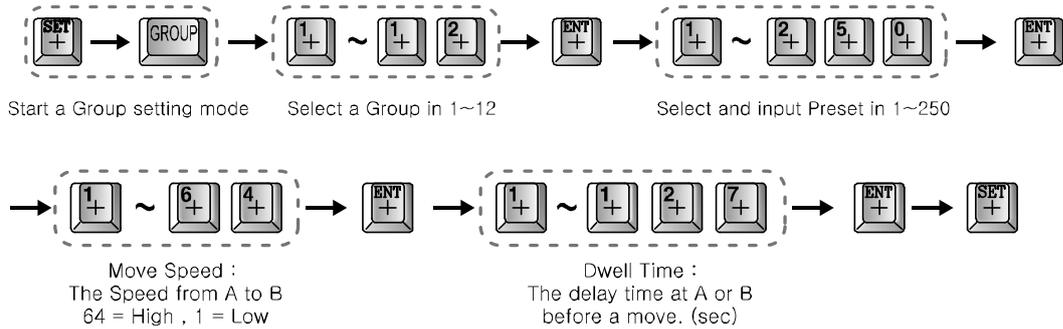


③ スウィングの停止

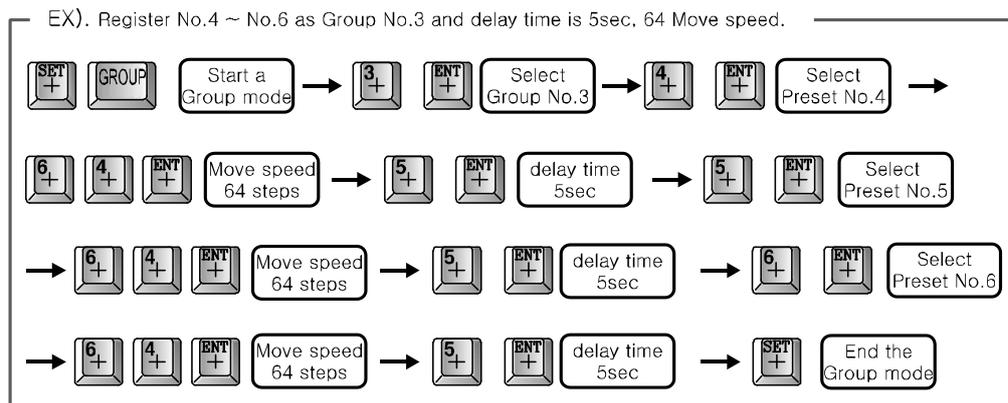


3. グループ設定

①グループ設定モードを開始します



多くのプリセットを設定するには、プリセット番号を入力して同じ設定を行ってください。



② グループの実行

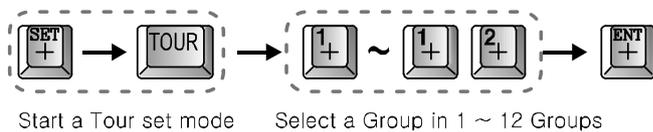


③ グループの停止

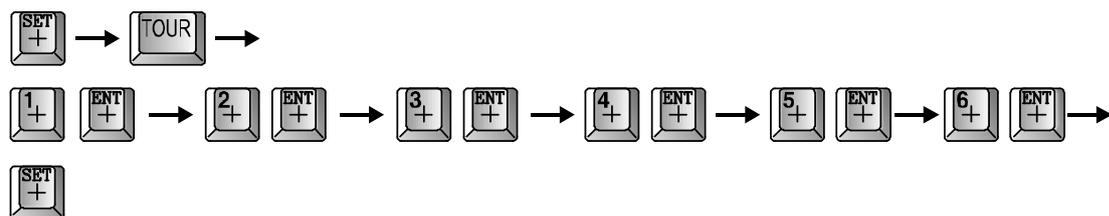
It can be stopped when user presses or controlling the joystick.

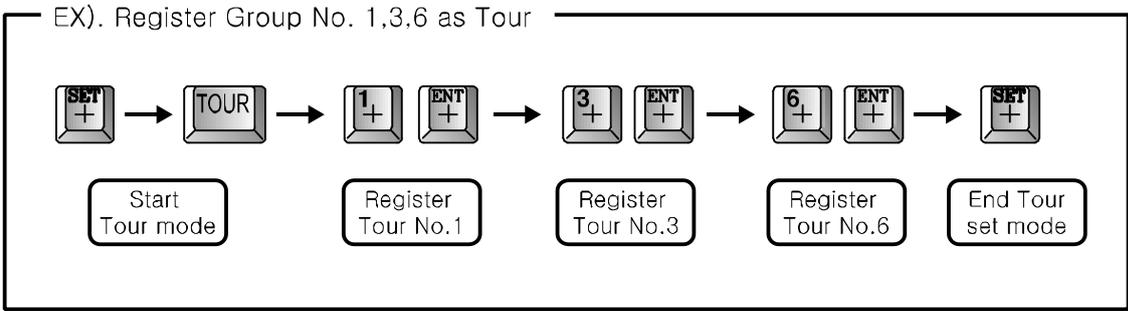
4. Tour setting

① ツアー設定モード



■ Repeat input in continual input





② ツアーの実行/停止

③ ツアー削除



5. スパイラル機能

スパイラル方向に自動的に目標物を観測する機能です。

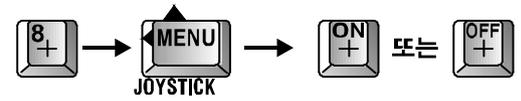


* 26. 「67+ PRESET」キーは「オン」のショートカットキーでも可能です。

6. PTZ Trace

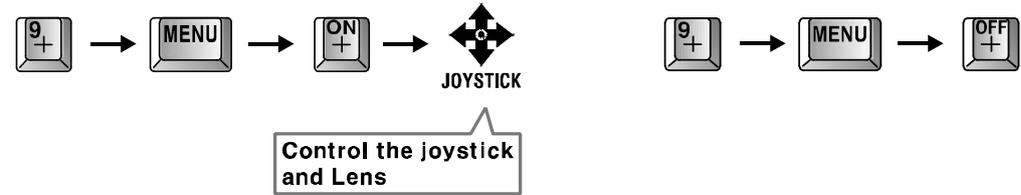
200 秒間の P/T/Z 動作を記憶し同じトレースで作動します。

① ・ トレースの実行/停止 ・ キャンセル:



② トレース設定

③ トレースキャンセル



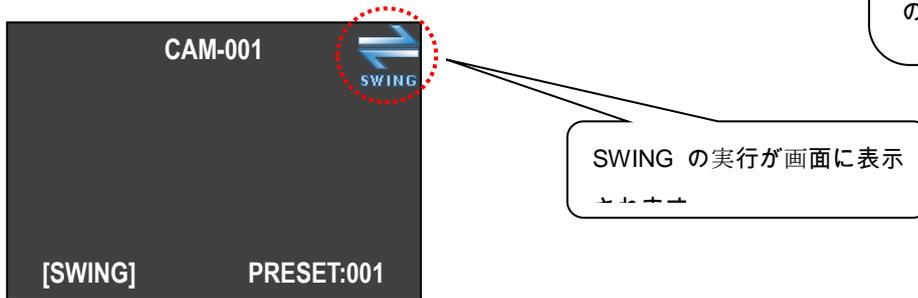
* 26. 「66+ PRESET」キーは「オン」のショートカットキーでも可能です。

3.4.4.OSD メッセージ説明

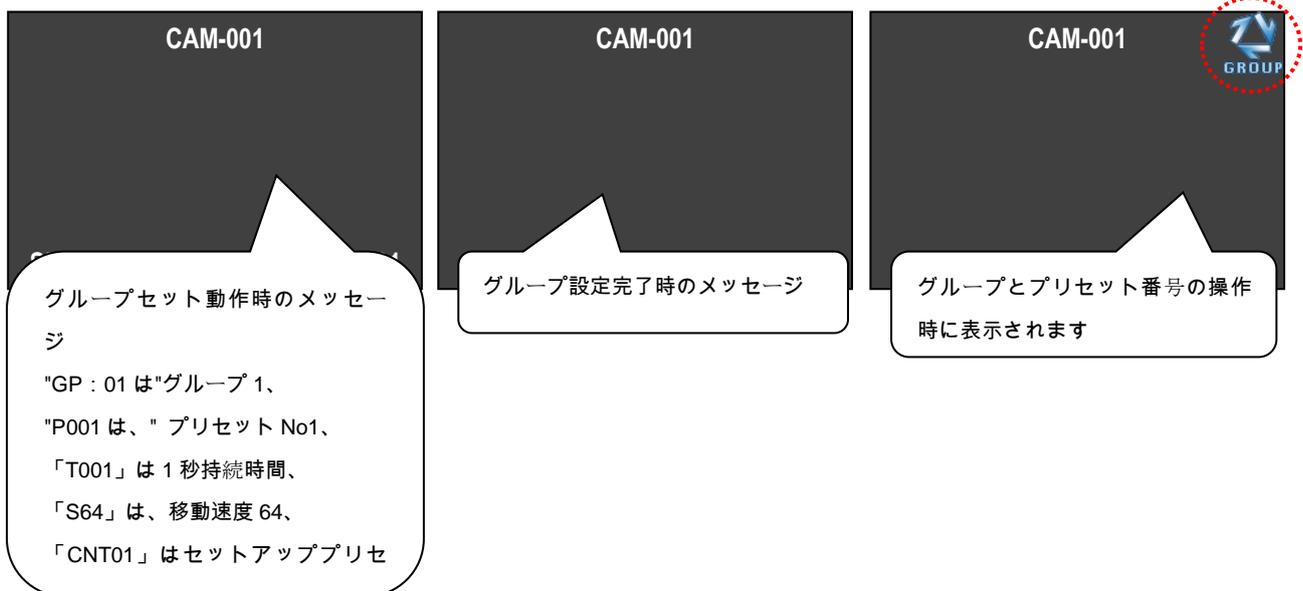
1. プリセットメッセージ



2. SWING メッセージ



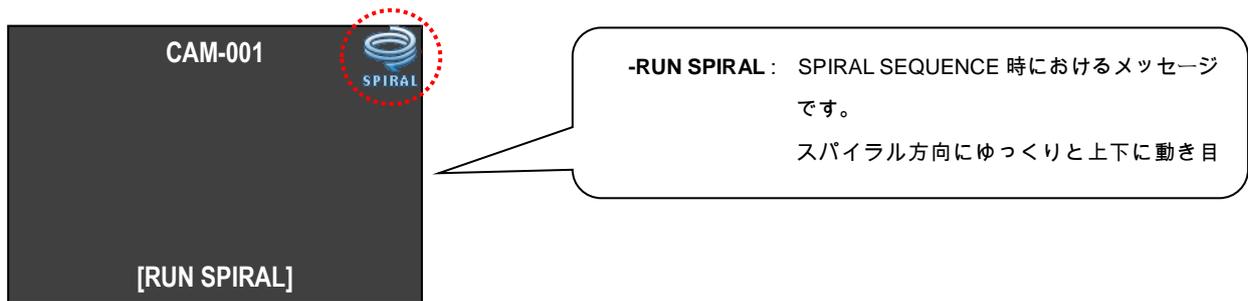
3. GROUP メッセージ



4. ツアーメッセージ



5. SPIRAL Message



4. トラブルシューティング

使用上の注意

- インストールの前に必ず電源スイッチをオフにしてください。
- 高温/低温、湿度の高い場所は避けてください
- 電源は AC24V / 2A でなければなりません。
- 取り付けに不一致がないように各ワイヤを接続するように注意してください。
- 外部に接続されたケーブルの絶縁状態を確認した後、電源に供給
- トラブルの原因となる強い衝撃や振動をしないようにしてください。

使用中のチェックイン

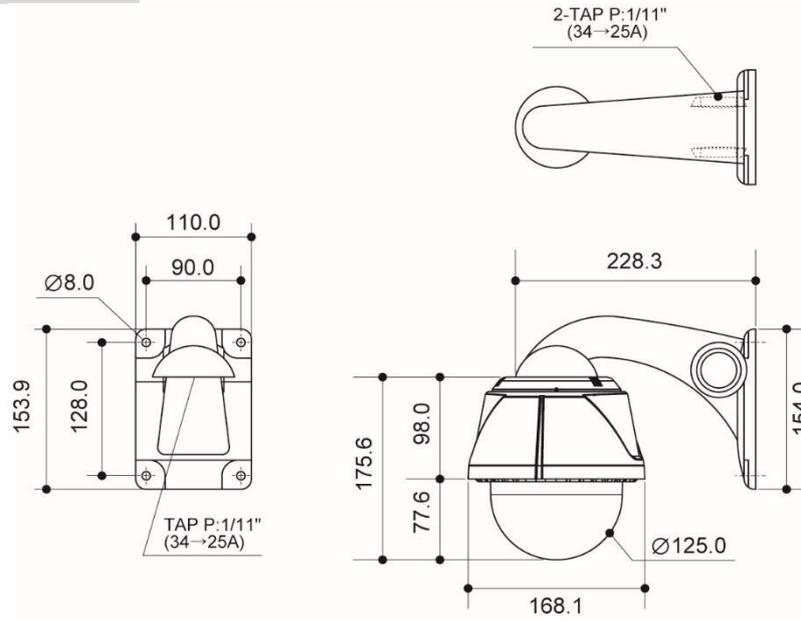
インストール時または使用時に何か問題がある場合は、次のように製品を確認してください。

ステータス	チェックポイント	トラブルシューティング
電源がオンになっていません。	製品への電力供給はうまくいきますか？	ボトムカバーの POWER LED が “ON” になっていることを確認してください。
電源オンでは動作しません。	操作中は、POWER SW の横の LED が赤色に点灯しますか？	DATA CABLE が点灯していない場合は、それを確認してください。 通信速度設定の ADDRESS と DIP SW が点灯していない場合は、それを確認してください。
	あなたは RS485 または RS422 の権利を選択しましたか？	OPTION DIP SW No. 2 の状態を確認する
PAN / TILT の状態が悪い	終了ターミナルレジスタを 'ON' にしましたか？	一番遠くに設定されているカメラの終端ターミナルレジスタを「ON」にします。
画像が鮮明でないか、黒い線が画面に表示されます。	電源アダプターは AC24V、1.5A 以上ですか？	より高い電流を持つアダプタのためにアダプタを交換してください。
「P / T POSITION ERROR」というメッセージが連続して表示されます。	重いものを押ししたり、他のものの上に置いたりしていますか？	カメラ本体の回転がスムーズに行われているかどうか、カメラの動作を妨げるような物を取り除いてください。
「SORRY NOT MEMORY」というメッセージが連続して表示されます。	関連する機能を設定しましたか？	マニュアルブックを参照して、必要な機能を設定してください。
警報状態では警報リレーは「ON」に変更されません。	SET MODE で ALARM RELAY を「ON」に設定しましたか？	SET MODE で ALARM RELAY が ON になっていることを確認してください。
In abnormal condition, even if the sensor is well.	正しい ALARM ACTIVE 設定状態で、センサーが開いているか閉じていますか？	SET MODE で SENSOR を接続して ALARM ACTIVE MODE を設定してください（どちらかのセンサーが開いているか閉じていることを意味します）
ALARM が発生すると、PRESET ポイントが異なるか、移動していません。 ARLAM が発生したときにキーボードから警告が機能しません。	ALARM PRESET をで設定しましたか？	ALARM PRESET のステータスを確認する SET MODE で設定します。
	専用コントロールキーボードを使用しましたか？	この警告は、排他制御キーボード。
	はい	カメラの ALARM が ON になっていることを確認してください。

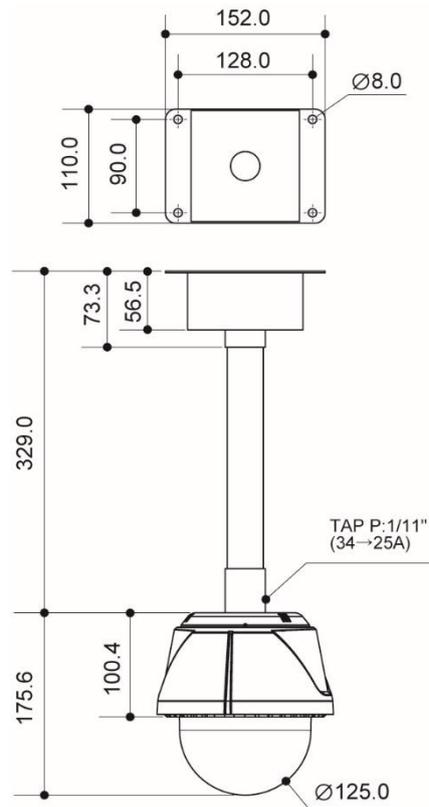
5. 寸法

5.1. 屋外タイプ

■ 壁マウントブラケット

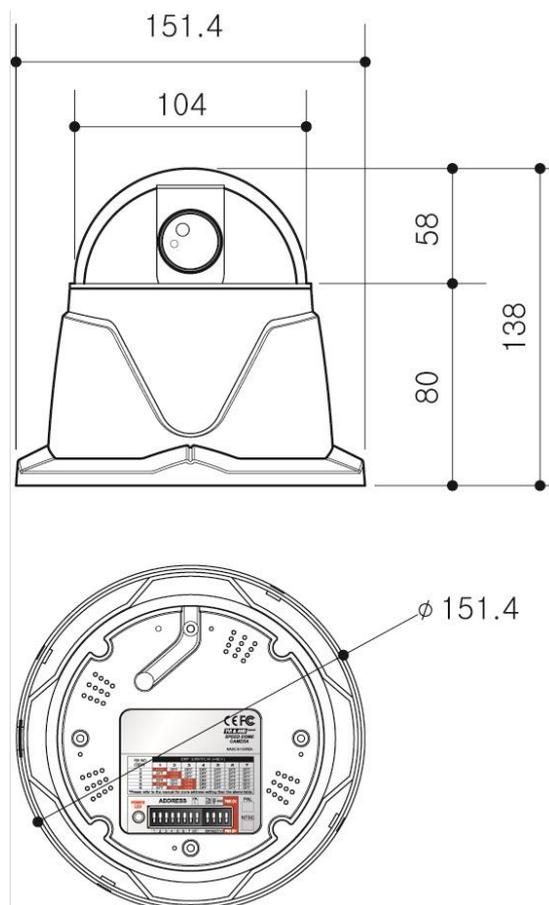


■ 天井マウントブラケット



Unit : mm

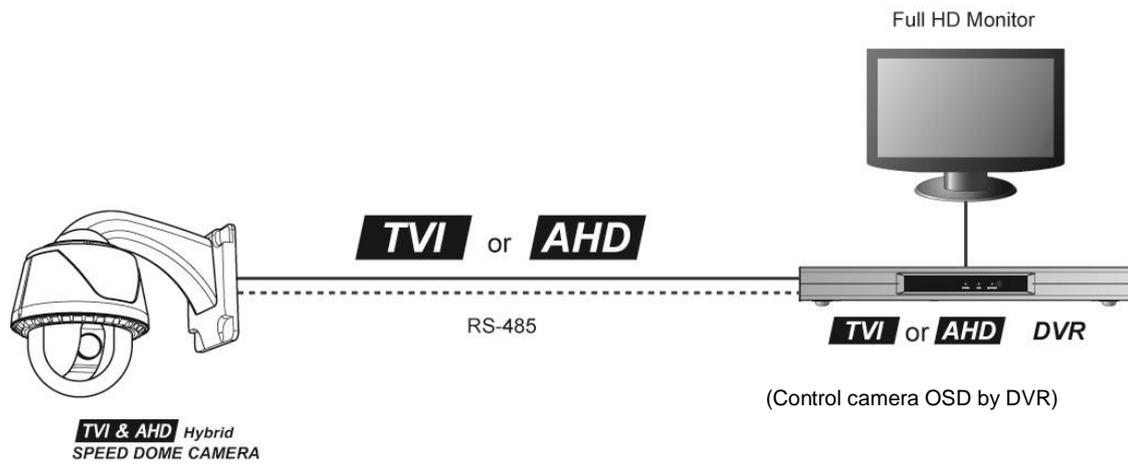
5.2. 屋内タイプ



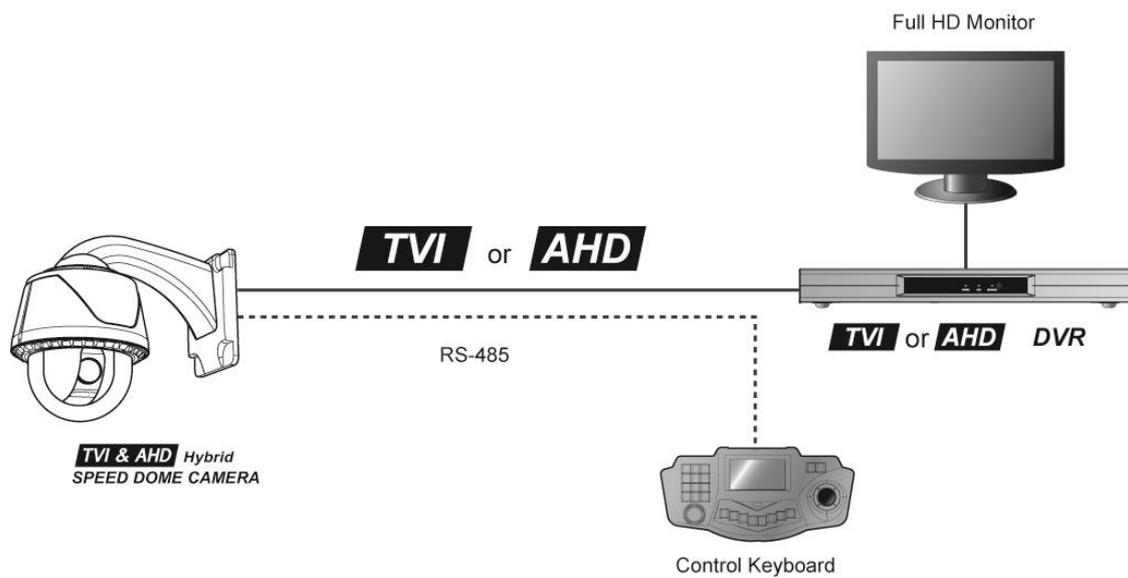
Unit : mm

6. 設定図

- カメラ + DVR + モニター



- カメラ + DVR + モニター + コントローラー



7. スペック

モデル	TVI & AHD Hybrid Mini Speed Dome Camera	
	屋外	屋内
ビデオ		
イメージセンサー	1/3" 2Mega Panasonic CMOS	
スキャンモード	プログレッシブスキャン	
合計ピクセル	1,956(H) x 1,266(V), 2.4M Pixels	
Number of active pixels	1,944(H) x 1,213(V), 2.3M Pixels	
解像度	1080P	
最小イルミネーション	Color : 0.5 lux , BW : 0.1lux Color DSS : 0.002 lux , BW DSS : 0.001 lux	
ビデオ出力	TVI/AHD 選択可	
S/N Ratio	52dB~	
レンズ		
レンズ	5.1~51mm(10x), F1.6 (wide) ~ F1.8 (tele) 光学(10x), デジタルズーム(32x), 最大ズーム(320x)	
フォーカスモード	自動 / 手動 I / Oneshot	
Angle of view	H:54° (Wide)~4.9° (Tele), V:31° (Wide)~4° (Tele)	
パン/ テルト		
Pan/Tilt アングル	360° Endless / 92°	
パンスピード	0.1° ~ 240° /sec (64 Levels), Preset: 360° /sec	
Preset point	250 プリセット	
アラーム入出力	4 入力 / 1 Relay Output	
機能		
デイ & ナイト	デイ / Auto Slow / Auto Fast / ナイト	
バックライト	Off / HLC / BLC / DWDR	
ホワイトバランス	Auto / 屋内 / 屋外	
AGC	On/Off	
DNR	低 / 中 / 高	
プライバシー / モーション	8 ゾーン / 1 ゾーン	
明るさ	レベル設定	
カラーレベル	レベル設定	
Stabilize	On/Off	
Dehumidification	可	
デフォグ	低 / 中 / 高	
環境		
動作湿度	30 % ~ 90 % RH	
動作温度	- 40° C ~ 50°	-10° C ~ 40°
Electrical		
Power Consumption	最大 16W	最大 12W
電源供給	AC24V, 50/60Hz	
Mechanical		
Construction	アルミニウム body	PC body
	Clear vandal bubble (PC)	
寸法	168mm x 175.6 mm	104mm x 138 mm
重量	約 3.3kg	約 0.74kg